

〈資料紹介〉

アイヌ文献目録 2006

アイヌ文献目録編集会

目次

はしがき

凡例

謝辞

文献目録

2006年

2005年補遺

はしがき

この目録は、当『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』11～13号に掲載した「アイヌ文献目録2003」～「同 2005」（以下、過年度の本目録については、「2003」「2004」の如く、年号のみで略記する）に引き続き、ひろくアイヌ文化に関わる諸分野の学習・研究のための基礎的条件整備の一環として、アイヌ文化関係の文献に関する総合的な目録を編さんし公刊する目的のもとに、作成し掲載するものである。

目録編さんに当たっての編者らの意図、アイヌ文化研究に関する文献目録の現状と課題、本文献目録の当面の計画などについては、本目録「2003」「2004」の冒頭で述べている。本目録と同様の、ないしはある程度重なり合う目的・内容で作成されている文献データベース類についても、前記の2つの目録及び「2005」の冒頭で触れているので、それらを参照されたい（追記参照）。

目録の編さん作業も本年で4年目となり、掲載した文献の件数も累計で4,000を越えた。少しずつではあるが遡及入力も開始しており、追って2000年以降の累積版の作成に入りたいと思う。

（追記）近年、文献データベース類の整備については幾つか重要な前進が見られる。

一つは、図書館等における雑誌論文や記事、論文集の細目などの検索サービスが整備されつつあることである。既に国立国会図書館では早くから「雑誌記事索引」をインターネット上で提供しているが、近年は都道府県・市町村立図書館でも整備が進みつつある。筆者の管見の範囲ではあるが、例えば帯広市図書館では管内の利用者用端末において提供している「郷土資料デジタルライブラリー」の

一つとして「郷土雑誌記事検索」の蓄積と利用を開始しており、十勝地方で発行されている雑誌や出版物を対象とした情報検索が整えられつつある。こうしたデータベースの構築は、それぞれの館における、利用者向けのレファレンス・サービスの充実などに向けた取り組みの蓄積がその基盤となっていると筆者は推察しており、その点が重要だとも考えている。

いま一つは、科学研究費補助金や21世紀COEプログラム等の大規模な研究プロジェクトの一環として、文献情報の収集・整理が行われ、その成果がインターネット上で提供される例が見られることである。これも筆者の管見の範囲ではあるが、例えば法政大学国際日本学研究中心が「北方史総合研究文献データベース」の提供を開始している（統合検索ページのアドレスは、<http://aterui.housei.ac.jp/oguchi/togo/index.htm>（2008年1月末現在））。

また、インターネット上のデータベースでデジタル画像などにより本文データを提供するものが増えてきており、国立情報学研究所の学術論文検索も、一部については論文の全文のテキストまたは紙面のPDFファイルを閲覧できるようになってきている。

【謝 辞】

本年度の目録の作成にあたって、下記の機関・個人から教示または協力を受け、あるいは多くの文献の閲覧をさせていただいた。参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、札幌市中央図書館、北海道立アイヌ総合センター、アイヌ民族博物館、
帯広市図書館、市立釧路図書館、帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター、
北海道大学附属図書館、東京都立中央図書館、同日比谷図書館、部落解放・人権図書館
石原誠、高橋規

（小川正人）

【凡 例】

1 (収録の範囲)

目録の本文には、2006年の1年間に、図書・雑誌（新聞を除く）のかたちで発行された文献、またはそれらに収録された論文・記事であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。また「2005年補遺」には、2005年の1年間に関する同様の文献であって、先の「アイヌ文献目録2005」発行後に新たに確認できたものを収録した。

日本語を主体とする雑誌・単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがある。

目録に掲載しておくことが文献検索上便宜的であると考えた場合は、アイヌを直接の主題とするものではない文献についても、やや広い範囲で収録している。例えば埋蔵文化財の発掘調査報告書については北海道内のものは時代を問わず収録しており、文献目録・書誌の類についても北海道・北方を主題とするものを広く収録している。逆に、例えば本文中に登場する地名や単語若干についてアイヌ語訳などを示している程度の場合は割愛したことが多い。

2 (配列)

おおよそ発行月日順に配列し、通覧の便宜を考え月ごとに区切りを設けた。

発行日は奥付の記載に準拠している。日付の記載がないもの、日付を確認できなかったものは、日のみ不明な場合は当該月の末尾に、月日とも不明の場合はその年の最後（12月の後）に記載した。

3 (記載事項と書式)

アイヌを主題とした単行本・雑誌については、編著者名、表題、巻号（雑誌のみ）、発行者、判型、ページ数の各項目を掲載した。編著者名と表題は太字で示した。

単行本・雑誌中の論文・記事については、最初に所収書の編著者名、表題、巻号等を掲載し、その下の行に、論文・記事の編著者名、表題、掲載ページを記載している。論文・記事の編著者名と表題は太字で示した。

編著者名、表題などの記載は奥付または表紙・背等の記載に従った。ただし副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。

記事・論文の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは〔 〕で括って示した。

初出に関する情報、単行本・雑誌の構成に関する情報などは本データの下に文字を小さくして挿入した。

〔 〕内は編者による注記・補足である。

文献目録

2006年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号 通巻	発行者	判型	ページ
【2006年1月】					
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化26 カムイ・ユーカラを訪ねて さんが語った話 (2)	325	グラフ旭川 ウサギのエカシ (お爺さん)	B4	85 73
	メディアあさひかわ アイヌの昔語りや踊りを披露 復活した伝統住居「チセ」で文化交流会	153	メディアあさひかわ	B5	321 252
島崎直美	前夜 アイヌ文化を引き継ぐことと女性解放	第1期 6		A5	296 154～156
	北海道のつり 「ほいど」浜師のアイヌ語紀行	36 1	422 水交社	B5変型	154
榊原正文	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 29 札幌の「奥座敷」・定山溪 その1				105～107
『飛磔』編集委員会 (編)	飛磔 民族の名誉と人権の回復を : 河野差別図書裁判報告 アイヌ民族の伝説 第7話 カワウソとキツネ	49	つぶて書房 (発行)、れんが書房新社 (発売)	A5	164 114～117
小西由希 (取材、文)、 田淵立幸 (写真)	おとなのいい旅北海道 アイヌ伝統食材による創作会席 & フレンチ	05 - 06年 冬号	リクルート北海道じゃらん (発行)、リクルート (発売)	A4	120 20～25
	伊藤哲也 (取材、文) アイヌ語地名をたどる 第4回 硫黄山 アトゥサヌプリ				104
飯部紀昭	季刊 北方圏 [ここにちは イランカラブテ] 辺野古の「南北之塔」	134	北方圏センター	B5	88 51
萱野茂、前田菜穂子 (著)、 稗田一俊 (写真)	よいクマわるいクマ 見分け方から付き合い方まで アイヌ民族の知恵編 アイヌ民族のヒグマ観		北海道新聞社	A5	259 85～103 195～196
星野紘	芸能の古層 ユーラシア アイヌの英雄叙事詩と神霊 (日本)		勉誠出版		376～383
	東洋音楽学会会報 第56回大会レポート 2005年10月1、2日に札幌市の大谷短期大学にて開催された大会の記録など。公開講演会(「口琴の音を解剖する」)、公開演奏会(「北の楽器 トンコリ・ムックリ・ホムス」)、研究発表のうち『アイヌ伝統音楽』のその後 旭川の座り歌・踊り歌に関する調査報告(甲地利恵)、「北の先住民は甲板で何を観(聴)、何を観(聴)せたか」(谷本一之)のそれぞれに関する概要報告あり。	66	東洋音楽学会	A4	32 1～10
松木新	よだん アイヌを描いた文学 菊田一夫『君の名は』	2月号	文友社出版	B5	36 30
はたさみつる (作)、川瀬聖香 (絵)	〔創作〕ベカンペと森のカミイたち 「解説」チカッ美恵子 (108～111ページ)		新風舎	A5	111
北海みちお〔きたみみちお〕	〔創作〕北海道を盗み取った男 武田信広を主人公とした創作 チ・ラム・サイ・エ		文芸社	B6	254
	主要目次：扶桑社との話し合いについて/すべてのシサムに(宮崎陽児)/教科書会社3社との交渉に参加して(白川ただし)/日記から : 編集後記にかえて(塚田タカヤ)	2	アイヌ民族に連帯し、扶桑社教科書を批判する会	B5	14
伊藤せいち	アイヌ語地名 II 紋別 雄武町から現遠軽町(遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村)までを取り上げる。		北海道出版企画センター	A5	341
菊池俊彦 (編)	サハリン北方先住民民族文献集 人類学・民族学編 1905-45 2005年3月刊行の『サハリン北方先住民民族文獻集 文芸作品篇 1905-1945』に続く文獻集。サハリン北方先住民民族に関する人類学・民族学の日本語文獻から、既存の著作集等に含まれていないものを中心に26編を選ぶ(「序」より)。以下に掲載した論考の他にも関係記述を散見できる。ただし、ウイルト、ニブフなどを主な対象としているため、アイヌ関係の記述部分が掲載にあたって割愛されている場合もある。		北海道大学大学院文学研究科	A4	215
石田収蔵	樺太紀行(上・中・下) 初出は『東京人類学会雑誌』第23巻第265、266、267号。1908年4、5、6月。				3～14
石田収蔵	南部樺太における土人 初出は『東京人類学会雑誌』第23巻第270号、1908年8月。				15～20

2006年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
石田収蔵	オロッコとアイヌの戦物語 初出は『東京人類学会雑誌』第25巻第294号、1910年9月。					30
中目覚	土人教化論〔後編〕 初出は岩波書店1918年10月発行の単行本。その中から後編「樺太北部民族の教化」を掲載。					31～42
高橋盛孝	ギリヤク族の民譚 初出は『昔話研究』第2巻第1、2号、1936年5、6月。収録された伝承の中に「アイヌのシャマン」などあり。					69～79
関口龍嗣	オロッコ曾我物語（多来加アイヌとオロッコの闘争） 初出は『樺太時報』第38号、1940年6月。					112～116
横尾安夫	樺太の原始民族 初出は『東亜の民族』理想社、1942年10月。					156～164
菊池俊彦	解説 サハリン北方先住民に関する人類学・民族学の文献目録（1905-45）					197～205 215～208
静内町総務部企画課広報広聴係（編）	広報しずない		698	静内町	A4	24
アイヌ民俗資料館	地名の語源探訪 とうぶつ					24
上田正昭（監修）	日本古代史大辞典 索引に「アイヌ」「アイヌ人種説」「アイヌ文化」などの項目あり。それによれば下記以外のページにもこれらの語の出現あり。			大和書房	B5	926
大塚和義	アイヌ人種説					2
大塚和義	アイヌ文化					2～3
上田正昭	蝦夷〔えみし〕					88
上田正昭	金田一京助					195～196
長沼孝	チャシ					430
上田正昭	ユーカラ					636
武蔵大学社会学部（編）	変わりゆく人権			お茶の水書房	A5	226
内藤暁子	先住民の権利とは何か					93～111
	からいどすこーぶ		8	歴史学同好会（札幌市）	B5	90
窪田剛	北海道の城郭： 城館・陣屋・チャシ					40～52
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告 2004年度に助成を受けた研究成果をまとめたもの。		5	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	743
中村和之（研究代表者）	蝦夷錦・青玉の化学分析 2005年2月17日の報告書の再録。					3～17
佐藤孝雄	恵庭山中におけるシラッチセの民俗考古学的調査（概報） 2005年2月の報告書の再録。					19～43
白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室（編）、 連池悦子（監修）	金成マツ筆録ユーカラ既刊20編の研究と分析（1） 2005年2月28日の報告書の再録。					45～161
たきかわ歴史地図研究会	古地図にみる西蝦夷地のアイヌ語地名 2005年2月28日の報告書の再録。					163～255
北海道ウタリ協会	アイヌ民族の「先住民族」認知への小論： 主要史・資料収集に基づいて					257～295
旭川アイヌ語教室	旭川アイヌ語辞書（基礎データ）					297～469
貝澤美和子	イテセ（ゴザ編み）： シキナ活用の調査研究 2005年2月25日の報告書の再録。					471～504
苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	前近代アイヌ民族における交通路の研究（胆振・日高 I） 2005年2月28日の報告書の再録。					505～605
アイヌ無形文化伝承保存会	トゥイタッ（散文説話）の翻訳と類話及び語り手に関する調査研究報告書（その1） 2005年2月の報告書の再録。					607～680
結城庄司研究会	結城庄太郎研究報告書 2005年2月28日に発行した報告書の再録。					681～743
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 4 講師：菅原勝吉（静内アイヌ語教室講師）			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	38
小林須佐男	邪馬台国は意宇出雲国 発行年月日記載なし。発行月は「あとがき」の日付による。			大成／こばやし出版	A5	484

2006年1月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
板垣昭一	小説 北海道開拓の雄 松本十郎 北 辰軸				鶴岡書店	B6	295
井戸理恵子、魚井一 由、舟山秀太郎ほか	パウンダリ 日本の材料を忘れた日本人のための講座 ： アイヌの文化を材料から見る	22	1	248	コンパス社 うみやまのあひだのマテリアル		9～25
長岡伸一	シサム通信 麻生発言、ウイルタ協会も抗議文 メディアの中のアイヌ・イメージ			156	シサムの会 6 SAYURI とスピルバーグ		11 1 6

2006年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年2月】						
鳥越さやか(文)、伊藤健次(写真)	ラポラ カムイノミ : 先住民族の住居跡で神への祈りを捧げる 「知床を歩く」Part2	22		北海道国際航空	A4変	36 9~12
山本修平	日本地名研究所通信 アイヌ語地名講座の開催 : 2004年の経験から	61		日本地名研究所	B5	4 3
榊原正文	北海道のつり 「はいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 30 札幌の「奥座敷」・定山溪 その2	36	2	423 水交社	B5変型	146 113~115
細井計〔ほそい かずゆ〕 (編)	東北史を読み直す			吉川弘文館	A5	312
工藤雅樹 樋口和志	古代蝦夷の諸段階 『諸家系図纂』所収の安藤系図について : 奥六郡安倍氏の祖先系譜に関する一考察					2~42 43~78
花崎皋平	ビーブルの思想を紡ぐ 現代アイヌ史の素描 知里幸恵とアイヌ民族の詩人たち 初出『知里幸恵「アイヌ神謡集」への道』(2003年) 『西崎晴治短編集 ポロヌイ峠』を読む 初出『図書新聞』2678号(2004年5月22日付)			七つ森書館	B6	193 131~170 171~179 181~188
狩野雄一、上野昌之、 宇井真紀子 長岡伸一 小野有五	先住民族の10年 News 「ひらけ! 最高裁 アイヌ民族共有財産裁判」東京行動(上) 表紙写真も記事関連。 巷のアイヌ語 第6回 「エムシ」 教育のための世界先住民族会議 アオテアロアに参加して グループ紹介その31 アイヌ・ラマット実行委員会	121		先住民族の10年市民連絡会	B5	20 8~10 11 12~13 14
竹内渉	部落解放 沖縄イチャルバ		561	解放出版社	A5	128 10~11
海保嶺夫	エゾの歴史 : 北の人びとと「日本」 講談社学術文庫1750。初版は1996年2月講談社発行(講談社選書メチエ)、新たに「学術文庫版あとがき」を付す。			講談社	A6	315
宮岡伯人(編)	今、世界のことが危ない! : グローバル化と少数者の言語 アイヌ語の記録・保存について 討議			クバプロ	B5	206 131~143 144~149
北海道・東北史研究会事務局	北海道・東北史研究会会報 アイヌ研究におけるモノと文献 : シーボルトの「蝦夷細工」を中心に 山崎報告に接して アイヌ語研究の足下 : 坂田美奈子「アイヌモシリにおけるウレシパの原則」『北海道・東北史研究』1(2004)をめぐって 「学際的」研究でなく、脱・学問領域的研究への過程	1		北海道・東北史研究会事務局	B5	8 2~3 3 4 5
山崎幸治 谷本晃久 奥田統己 坂田美奈子	よだん アイヌを描いた文学 石森延男『コタンの口笛』	3月号		文友社出版	B5	36 31
松木新	歴史に学ぶ : 古代から現代へ 北天の英雄 アテルイ 初出は『部落解放研究』第155号(2003年)			学生社	B6	284 55~62
上田正昭	釣り師の本棚 アイヌの人々は「オビラメ」と「イトウ」を区別した／『コタン生物記Ⅰ~Ⅲ』更科源蔵・更科光著 初出は『北海道のつり』			寿郎社	B6	123~125
中里哲夫	坐職の読むや ビッキ展に寄す			みすず書房	B6	398 371~372
加藤郁也						

2006年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
空知地方史研究協議会	明治大正昭和の空知写真集 考古・アイヌ民族 このほか121ページに高畑利宜に関するコラムあり。			空知地方史研究協議会	A4	135 122～125
井上勝生 井上高聡	岩波講座 帝国日本の学知 第1巻 「帝国」：編成の系譜 札幌農学校と植民学の誕生 : 佐藤昌介を中心に 〔文献解題〕北大学派植民学 「付録 文献解題」のⅢ「植民政策学文献解題」のうちの一部			岩波書店	A5	360 11～41 26～31(巻末横組ページ)
佐々木高明	山の神と日本人 : 山の神信仰から 探る日本の基層文化 山の神信仰の地域性と東北日本 東北日本の畑作信仰の基層にあるもの : アラキ型焼畑の謎と北方系畑作農耕			洋泉社	B6	251 155～175 176～212
知里真志保を語る会(編)	室蘭・登別沿岸のアイヌ語地名研究 インカアンロ 序(小坂博宜)/推薦の辞(切替英雄)/アイヌ語地名の意味と由来(小坂博宜写真構成、解説。切替英雄・久末進一調査協力)/アイヌ語地名と神話・伝説(小坂博宜編著。久末進一記「謎の「イタンキ」考、同「チヌエヒラ(銀屏風)伝説考」のほか、「アファンルパロ(あの世の入口)とは何か」(切替英雄採録を含む)などあり)/参考文献/あとがき 写真CD(地図及び撮影写真、カムイユカラを収録)を添付。			知里真志保を語る会	A4	58
柊原正文	アイヌ語地名釣歩記 北海道のエコ・ ツーリズムを考える 『北海道のつり』連載の「はいど「溪師」のアイヌ語紀行」(2003年9月号から2005年9月号掲載分まで)に加筆・修正及び写真の増補を行ったもの。新たに「はじめに」を付す。平成17年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成事業の成果品。			北海道出版企画センター	A5	195
静内町総務部企画課広報広聴係(編)	広報しずない 〔ガンバリ人間静内発〕 菅原勝吉さん(38)		699	静内町	A4	24 17
池内敏	大君外交と「武威」 : 近世日本の 国際秩序と朝鮮観 アイヌと朝鮮人との交流 第2部「武威」の国」補論3。初出は「慰撫文化情報源としての漂流記」『日本海学の新世紀 二』(角川書店、2002年)			名古屋大学出版会	A5	466 227～233
小熊秀雄 小熊秀雄 小熊秀雄	小熊秀雄童話集 親不孝なインクツキ〔創作〕 マナイタの化けた話〔創作〕			清流出版	A5	168 95～97 99～105
堀川真(文・絵)	北海道わくわく地図えほん アイヌ民族			北海道新聞社	B5変型	48 36～37
平村正 大塚拓(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 平取版「フットパス」創設を！ 訪問インタビュー 第80回 講義風景(4)	82		平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1～2 4～6 7
宮武公夫	北海道大学大学院文学研究科紀要 博覧会の記憶 : 1904年セントルイス博覧会とアイヌ	118		北海道大学	A5	236 45～93
ジョージナ・スティー ブンス	北大法学研究科 ジュニア・リサーチ ・ジャーナル 国際人権規約と先住民族 : アイヌ民族と自由権規約を中心に	12		北海道大学大学院法学研究科	B5	242 121～173
アイヌ無形文化伝承保存会 (編)	神々の物語 再版 『神々の物語』再版にあたって/[写真]アイヌの生活とまつり/神々の物語 1 ウサギが自らのことを物語る(八重九郎)/2 カムイユカラ エゾオオカミの大神の自叙伝(上野ムイテタン)/3 火の罫神の自叙伝(四宅ヤエ)/4 集落を見守る(シマフクロウ)神の自叙伝Ⅰ(四宅ヤエ)/5 集落を見守る(シマフクロウ)神の自叙伝Ⅱ(四宅ヤエ)/6 集落を見守る(シマフクロウ)神の自叙伝Ⅲ(四宅ヤエ)/7 カコッサボのカムイユカラ(織田ステノ)/説話 1 オタス人の禪の垢によって娘を産んだ中央の山の神の娘の話(杉初版は1981年3月発行)			アイヌ無形文化伝承保存会	B5	207
結城庄司研究会(編)	北海道アイヌ(ウタリ)協会史 研究 1 報告書 写真/はじめに/Ⅰ 研究報告 北海道アイヌ(ウタリ)協会史研究1/Ⅱ 関連資料(1「北海道アイヌ協会」創立総会案内状/2 昭和21年度第1回定期代議員会開催通知/3 社団法人北海道アイヌ協会定款(1946年3月26日登記)/4 社団法人北海道あいぬ協会定款(第2次)/5 北章明著『アイヌ沿革誌』序(貝澤正)/6 全道アイヌ青年大会関係新聞記事/7 全道ウタリ諸氏に告ぐ/8 アイヌ協会存立の趣旨と使命/9 関連新聞記事/10 『アイヌ新聞』各号/11 『北海道選挙大観』から「北海道庁長官選挙」「地方議会 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成17年度研究助成成果報告書			結城庄司研究会	A4	116

2006年2月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
今石みぎわ	「花とイナウ」をよむ : アイヌと和人の削りかけ、比較研究への覚書 はじめに/序章 本州以南の削りかけと、イナウ/第1章 ロク文芸に語られるイナウとアイヌ世界/第2章 菅江真澄のみた近世蝦夷地と東北/第3章 断想、削りかけからイナウを考える/おわりに/資料編 (I ロク文芸に語られるイナウとアイヌ世界/II 菅江真澄 イナウ・削りかけ関係資料) 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成17年度奨励研究助成の成果報告書。				今石みぎわ	A4	85
石狩市郷土研究会、石狩の碑調査編集委員会(編)	石狩の碑 第三集 : 石碑等にもみる石狩市の歩み				石狩市郷土研究会	A5	240
高瀬たみ、田中實(担当)	豊川アンノラン墓碑						105~107 185~186
榎木新一(担当)	樺太アイヌの碑						
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	吉田蔵資料集21 帯広叢書第55巻 1 アイヌ調査書 5(第5編 容儀及び礼式)/2 日記3-19(昭和12年9月~12月)/3 著作原稿13(北海道先住民族について)/4 出現語彙一覧/5 注釈用参考文献一覧				帯広市教育委員会	B5	270
日高町100年記念史編さん委員会(編)	日高町100年記念史 地名 日高のアイヌの人たちの生活				日高町役場	B5	332 59~61 76
服部英二、鶴見和子	「対話」の文化 : 言語・宗教・文明 日本の歴史から消されたアイヌ民族の根幹を奪う政策				藤原書店	B6	219 177~180 180~182
北海道ウタリ協会様似支部(編)	様似の歴史とアイヌ民族 : 北海道アイヌ協会設立60周年を迎えて はじめに/写真編/聞き書き編(菊池玉枝さん/佐藤富三郎さん・キンさん/山崎照正さん/繁田ミツさん/小田正三郎さん・ユキエさん)/研究編(北海道アイヌ協会と様似支部/去間弁次郎さん/岡田尋常小学校/様似におけるアイヌ民族の諸団体/様似の歴史とアイヌ文化)/資料編/特別寄稿「協会60年に想う」(菊池実) 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成成果報告書				北海道ウタリ協会様似支部	A4	126
	第9回 アイヌ語弁論大会報告書 イタカン ロー アイヌ語で話しましょう! 発行年月日記載なし。発行年月は「刊行にあたって」の記述による。				アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	160
百瀬響、谷中章浩	年報いわみざわ 1879年の独逸皇族による北海道巡覧とアイヌ : 『函館新聞』による報道を中心に			27	バルク・カンパニー	A4	50 29~40
坂本正行	食の科学 特集: 火と食文化 北海道アイヌにおける「火の神」			337	光琳	B5	90 28~37
東北地理学会(編) 遠藤匡俊	季刊地理学 1930年代の大興安嶺南東部におけるオロチョンの命名規則 : アイヌとオロチョンの文化に関する比較研究にむけて	57	4		東北地理学会		222~231
桃内佳雄	北海学園大学工学部研究報告 アイヌ語地名解析の自動化のための基礎的考察			33	北海学園大学		153~169
盛岡大学比較文化研究センター	比較文化研究年報			16	盛岡大学比較文化研究センター		
横沢京子	アイヌ民族と Native American の Oral Folklore に対する検証 : 「アイヌラックル」と"Arrow to the Sun"を中心にして						39~50
北海道教育大学(編) 吉田正生	北海道教育大学紀要 教育科学編 中学校社会科歴史教科書に現れたアイヌ民族関係記述について(4) : 中近世史記述に限定して	56	2		北海道教育大学	A4	97~105
北海道教育大学(編) 井筒勝信	北海道教育大学紀要 人文科学・社会 アイヌ語の品詞分類再考 : いわゆる人称代名詞をめぐって	56	2		北海道教育大学	A4	13~27
立命館大学国際言語文化研究所(編)	立命館言語文化研究 特集: 共生の可能性と限界プロジェクト 「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」は多文化主義政策なのか?	17	3		立命館大学国際言語文化研究所		223~238

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
【2006年3月】						
岡雅彦	グラフ旭川		327	グラフ旭川	B4	63
	アイヌの文化27 山本多助の姿(1)					51
	メディアあさひかわ		155	メディアあさひかわ	B5	177
	ポロチセを再建したい 旭川アイヌ最後の大棟梁の願い					138～139
内田祐一 (文、写真)	広報おびひろ		982	帯広市企画部広報課	A4	24
	【ふるさと見聞録】アイヌの人々の生活110 チセのなかのカムイ (神)					24
佐々木高明、小島美子、赤坂憲雄ほか	伝統文化		18	伝統文化活性化国民協会	A4	51
	パネルディスカッション 「伝統文化活性化シンポジウム 伝統文化の東西南北」の一部。「東北日本の文化」あり。					5～38
榊原正文	北海道のつり	36	3	424 水交社	B5変型	146
	「ほいど」涙師のアイヌ語紀行 Vol. 31 カムイが住んでるカムイコタン					109～111
釧路市総務部地域史料室(編)	釧路捕鯨史			釧路市役所	A5	379
	釧路叢書別冊 勇敢なアイヌ民族の捕鯨					82～84
北海道開拓記念館(編) 鈴木琢也	北海道開拓記念館だより	35	4	190 北海道開拓記念館	A4	7
	【北方文化共同研究事業紹介】「北方の資源をめぐる先住者と移住者の近現代史」の紹介					4～5
歴史科学協議会 (編)	歴史評論		671	校倉書房	A5	112
	特集：城の社会史 宇田川洋					
	Yay Yukar Park		52	ヤイユーカーの森	B5	14
	久しぶりの太平洋 51回ピースボートの旅/最近までの活動報告/連載 食いものノート 「親父料理術入門」14/西本願寺・連続差別落書き事件/事務局点描					
森山軍治郎 山内栄治	労働文化		197	北海道労働文化協会	B5	19
	追悼 藤本英夫さんのこと アイヌ神謡世界からアンデス・済州島へ 道半ばに藤本英夫さん逝く					2～3 19
津曲敏郎(編) 高橋靖以	環北太平洋の言語		13	北海道大学大学院文学研究科	B5	180
	アイヌ語十勝方言の進行相を表す型式 kor an について					75～82
谷本晃久、谷口幹也(編著)	砂澤ビッキ作品から何を学ぶか？			北海道教育大学岩見沢校日本史教室	A4	145
	科学研究費補助金研究成果報告書(平成14年度～16年度、基礎研究C1、研究課題「地域ならびに歴史的視点からみた作家研究方法の開発 : 彫刻家砂澤ビッキを手掛かりに」)					
河井大輔	faura (ファウラ)		11	北国からの贈り物(発行)、ナチュラリー (発売)	A4	80
	ファウラ博物誌 其ノ八 蝶鯨・失われた遺産					66～67
松木新	よだん		4月号	文友社出版	B5	36
	アイヌを描いた文学 武田泰淳『森と湖のまつり』					31
塩原朝子、児玉茂昭(編)	表記の習慣のない言語の表記				A5	335
	COE 研究拠点「アジア書字コーパスに基づく文字情報学の創成」のサブプロジェクト「固有の文字をもたない言語の表記に関する諸問題の解決を支援するオンライン・リソースの構築」の活動の一環として開催された研究会(2005年3月4日開催)における発表に基づくもの。下記の他にも「ニヴフ語の表記」(丹菊逸治)などあり。					
中川裕	アイヌ人によるアイヌ語表記への取り組み					1～44
桑原康彰	北海道の野性動物 : 開拓秘話・哀話編			ソーゴー印刷情報出版センター(帯広市)	B6	177
	アイヌの国					11～58
札幌学院大学学芸員課程(編)	札幌学院大学学芸員課程 年報		19	札幌学院大学学芸員課程	B5	88
	2005年度文化実習B実習生			静内町におけるアイヌ文化聞き取り調査 : 2005年度文化実習B調査報告		49～60
大友宏之、甲斐敬章(文)、甲斐敬章(写真)、矢崎勝美(表紙デザイン、編集)	藤戸竹喜の世界 阿寒と藤戸竹喜(五十嵐広三)/作品/作品リスト/年譜/阿寒に生きる			藤戸竹喜	A4	138
高嶋弘志	釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究		18	釧路公立大学	B5	103
	有珠善光寺文書「天保十三年日記」の復元					1～17(縦組)

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
北海道埋蔵文化財センター(編)	恵庭市西島松5遺跡(4) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第224集			北海道埋蔵文化財センター	A4	224
北海道埋蔵文化財センター(編)	白滝遺跡群Ⅳ 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第223集			北海道埋蔵文化財センター	A4	3分冊
清水裕二 手島武雅 石井貴博	先住民族の10年 News 「ひらけ！最高裁 アイヌ民族共有財産裁判」東京行動(下) 「先住民族権利宣言」をめぐる最近の動向 「皆さんは、アイヌを知っていますか？」 : 中学校英語スピーチコンテストより グループ紹介その32 先住民族の権利ネットワーク		122	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2~4 5 12~13 15
厚真町教育委員会(編)	厚真町鯉沼3遺跡(2)			厚真町教育委員会	A4	50
河野本道(編)	アイヌ史新聞年表『小樽新聞』(大正期Ⅰ)編			國學院短期大学コミュニティカレッジセンター	B5	206
竹内渉	けーし風 [北の風・南の風] アイヌ(ウタリ) 協会創立六〇周年		50	新沖縄フォーラム刊行会議	A5	78 54~55
台湾原住民史研究会(編) 山田仁史	台湾原住民史研究 南と北の小人伝承		10	風響社	A5	3~37
福田アジオ、新谷尚紀ほか(編)	精選 日本民俗辞典 初出は『日本民俗大辞典』			吉川弘文館	A5	701
藤村久和 藤村久和 藤村久和 藤村久和 藤村久和 大島稔 萩中美枝	アイヌ イオマンテ イナウ ウタリ カムイ チセ ユーカラ					2~6 28~29 42~43 72 146~147 353~354 585~586
雄武町史編纂委員会(編) 因幡勝雄 因幡勝雄 伊藤静致 秋葉實	雄武町百年史 アイヌ文化の形成 第二章「アイヌ文化」の第一節 アイヌ文化 第二章「アイヌ文化」の第二節 雄武町のアイヌ語地名 第二章「アイヌ文化」の第三節 ラム村の夜明けとアイヌ民族 第三章「古代~近世の蝦夷島」の第三節			雄武町	A5	1516 81~83 83~106 107~130 147~183
厚真町教育委員会(編)	上幌内モイ遺跡(1)			厚真町教育委員会	A4	234
	道歴研年報 復領期松前藩と蝦夷地 : 「蝦夷地勤番」の活動を中心に 例会報告要旨		6	北海道歴史研究者協議会	B5	24 13~14
田口正夫(編)、佐々木亨(監修)	『北海タイムス』掲載のサハリン及び北海道先住民族に関する記事データベース(1926. 12. 25-1935. 12. 31)			北海道大学大学院文学研究科	A4	145
北海道浅井学園大学短期大学部(編) 畠山幸代	北海道浅井学園大学短期大学部研究紀要 北方民族の服飾からイメージしたドレス1 : アイヌの衣服文様から		44	北海道浅井学園大学短期大学部	B5	191 179~180
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編) 古原敏弘	アイヌ民族文化研究センターだより [共同研究から]「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」について [公開資料の紹介]文書・写真資料/平成18年度から公開する資料について		24	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	8 3 4~5
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編) 甲地利恵 佐藤知己 大谷洋一 黒田格男、大島直行、古原敏弘、小川正人	北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要 沙流川流域に伝わるアイヌの「神謡」の音楽について (1)概説 (2)拍節構造 アイヌ語千歳方言のアスペクト : kor an, wa an を中心として [調査報告] 小川シゲノさんの口承文芸 [資料紹介] 伊達市噴火湾文化研究所所蔵のジョン・バチラー関係資料 1		12	北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	160 1~42 43~67 69~82 83~107

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
アイヌ文庫目録編集会	アイヌ文庫目録 2004					109～160
静内町総務部企画課広報広聴係(編)	広報しずない		700	静内町	A4	28
	地名の語源探訪 サマッキイワ					28
早来町教育委員会(編)	早来町富岡3遺跡・新栄2遺跡			早来町教育委員会	A4	30
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町三次郎川右岸遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第233集			北海道埋蔵文化財センター	A4	395
北海道埋蔵文化財センター(編)	早来町大町2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第228集			北海道埋蔵文化財センター	A4	634
北方山草会(編)	北方山草		23	北方山草会	B5	180
	小特集:アイヌと植物					
福岡イト子	アイヌの精神文化を通して植物をみる					3～13
山岸喬	アイヌの重要な利用植物					15～22
斎藤玲子	アイヌの植物利用に関する研究史の概略と文献案内					23～32
戸部千春	山草、樹木そしてアイヌ民具を巡る五つの小品					33～40
塩田惇	砂澤ベラモンコロ蠅と植物標本					51～53
松井洋	江戸時代後期の植物名と蝦夷語(アイヌ語)の資料集成 : 木本編					67～103
	開発こうほう		513	北海道開発協会	A4	32
真砂徳子	ただ今、道産子修行中! まさごのりこ北海道魅力発見録 その1 北海道・地名の由来					12～13
北海道埋蔵文化財センター(編)	共和町リヤムナイ遺跡・リヤムナイ3遺跡(2)遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第227集			北海道埋蔵文化財センター	A4	280
北海道埋蔵文化財センター(編)	江別市対雁2遺跡(7) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第226集			北海道埋蔵文化財センター	A4	228
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市チブニー2遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第225集			北海道埋蔵文化財センター	A4	69
『物質文化研究』編集委員会(編)	物質文化研究		3	城西国際大学物質文化研究センター	B5	
内山達也	樺太アイヌの埋葬形態についての一考察					32～51
北海道立北方民族博物館	北海道立北方民族博物館研究紀要		15	北海道立北方民族博物館	B5	126
谷本一之	北の先住民は甲板でなにを見、なにを見せたのか 千島アイヌに関連する記述などあり					1～17
笹倉いる美	のりすと2005 : 北方研究データベース 「付」として「のりすとの13年」あり。					109～120
	比較文化論叢		17	札幌大学文化学部	A5	101
川上淳	宝暦六(一七五六)年紀州船エトロフ漂流記について 15～17ページ「エトロフ島アイヌの風俗等」あり。					5～29(縦組ページ)
旭川市史編集会議(編)	新旭川市史 第3巻 通史3			旭川市	A5	1500
	主に1902年の旭川町一級町制施行から旭川区制下の1922年頃までを対象時期とする。					
谷本晃久	近文アイヌと「旧土人保護地」移転問題					705～866
北海道埋蔵文化財センター(編)	テエタ 北海道埋蔵文化財センターだより		16	北海道埋蔵文化財センター	A4	8
	追悼 藤本英夫氏、高橋正勝氏を悼む					
	2005イオルフォーラム報告書			北海道ウタリ協会	A4	32
	2005年7月9日(札幌市)、8月28日(帯広市)、10月8日(旭川市)で開催されたフォーラムの記録					
佐々木高明	各会場プログラム					2～4
	基調講演要旨					5～16
	2005年7月9日札幌市での講演記録。					
貝澤文俊、加藤忠、川上哲、笹村二郎、川奈野惣七、大川勝、秋辺得平(討論参加者)	討論会要旨					17～24
	2005年7月9日札幌市での討論会の記録。司会阿部一司。					
	資料編					25～31
	佐々木高明氏レジュメ/アイヌの伝統的生活空間の再生に関する基本構想/「ウタリ対策のあり方に関する有識者懇談会報告書」より抜粋					
池田貴夫	環オ ホーツク No. 13			北の文化シンポジウム実行委員会	B5	90
	クマ祭りの文化情報学					29～46

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
飯田 桂	アイヌ民族の散文説話にみる世界間交流					65～74
鈴木俊二	国際短期大学紀要 借用語の理論(3) 日本列島の歴史言語学		20	国際短期大学		41～96
北海道ウタリ協会(編)	平成17年度世代間交流事業報告集 平成17年度世代間交流事業講演内容(登別会場/八雲会場/帯広会場/様似会場/釧路会場/白糠会場/千歳会場)/世代間交流事業報告書資料編			北海道ウタリ協会	A4	144
	北海道遺産構想推進協議会情報誌 特集「北海道遺産びと」 アイヌ口承文芸継承者 川上将史		7	苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	A4	63 24～26
高橋靖以 若林和夫 中田 篤 津田命子	北海道民族学 『北海道民族学会会報』の改題継続。 アイヌ語十勝方言テキスト：クマの追跡を逃れた話 『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』におけるオオウバユリ食用記述とその周辺 : 記述の分析による調理及び食用状況の把握 [書評・紹介] 北海道立北方民族博物館編『環北太平洋の環境と文化』(仮題) [2005年度第1回研究会発表要旨] アイヌ木綿衣服の比較調査 : ロシアと釧路の3資料から		2	北海道民族学会	B5	100 50～54 55～66 79～80 84
諏訪原貴子、鷹司繪子	和洋女子大学紀要 家政系編 北海道アイヌを中心としたかぶりものについての研究		46	和洋女子大学		59～77
アイヌ語地名研究会(編)	アイヌ語地名研究会会報 第3回『地名アイヌ語辞典』勉強会開催される 今井八九郎の縮尺について 随筆 シャモの子 図書・会誌・会報・論文などの紹介		26	アイヌ語地名研究会	B5	8 1～2 3～4 4～5 8
旭川市博物館(編) 魚井一由	旭川市博物館研究報告 旭川採集アイヌ語名詞集		12	旭川市博物館	A4	61 1～12
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録ⅩⅥ 民族資料／儀礼関係：捧酒箸			旭川市博物館	A4	63
伊達市噴火湾文化研究所(編)	Newsletter 噴火湾文化		1	伊達市噴火湾文化研究所	A4	16
黒田格男	伊達の画家・小野潭の絵画資料について					8～13
芽室町教育委員会(編)	芽室町大成遺跡2 芽室町埋蔵文化財調査報告 第6輯			芽室町教育委員会	A4	20
芽室町教育委員会(編)	芽室町大成遺跡3 芽室町埋蔵文化財調査報告 第7輯			芽室町教育委員会	A4	79
国立民族学博物館(編) 大塚和義	国立民族学博物館三十年史 東アジア(アイヌの文化)展示			国立民族学博物館	B5	497 214～215
根室市歴史と自然の資料館(編)	根室市歴史と自然の資料館紀要		20	根室市歴史と自然の資料館	B5	50
川上淳 本田克代 猪熊樹人	千島通史(6) 18世紀後半の千島(2) 国後島東部のチャシ : 聞きとりによる 色丹島で採集された考古資料 : 小山勇氏採集資料から					1～12 23～30 31～38
新增毛町史編さん委員会(編) 小野卓也 高橋明雄	新增毛町史 アイヌ語地名 史料 マシケ場所にみるアイヌ民族			増毛町	A5	1337 786～801 921～1091 1109～1117
青森県史編さん近世部会(編)	青森県史 資料編 近世3 津軽2 後期津軽領 「付図」として「天保陸奥国津軽領絵図」「南部・津軽・松前浜通絵図」を付す。 北方問題の展開と藩政 第1節「北方問題の発生と藩政改革」/第2節「蝦夷地直轄と弘前藩」			青森県	A4	740 109～334
仙台藩白老元陣屋資料館(編) 伊藤稔	仙台藩白老元陣屋資料館報 仙台市・白老町歴史姉妹都市展「アイヌの歌人森竹竹市 民族の表現者」から		12	仙台藩白老元陣屋資料館	A4	64 55～64

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
帯広百年記念館(編) 秋野茂樹	帯広百年記念館紀要 シカの送り儀礼 : 再考		24	帯広百年記念館	A4	47 1~10
鶴居村教育委員会(編)	下幌呂15遺跡発掘調査報告書			鶴居村教育委員会	A4	238
苫小牧駒澤大学(編) 植木哲也	苫小牧駒澤大学紀要 児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(2) : 研究の諸問題		15	苫小牧駒澤大学	A5	226 119~152
苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所 秋野茂樹	環太平洋・アイヌ文化研究 江戸期におけるアイヌの霊送り儀礼 : 和人が記した記録からその様相を見る		5	苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	B5	146 1~26
岡田路明 村井康廣 若林和夫	苫小牧の地名とアイヌ語(Ⅳ) 紀行文: 北央先住民サミ海外交流 フツコラチへのインタビュー : 現在のアイヌ文化と当事者 2004・2005年度の活動					49~67 97~126 127~140 145~146
日本口承文芸学会(編) 坂田美奈子	口承文芸研究 アイヌの物語における社会矛盾の解決		29	日本口承文芸学会	A5	212 58~69
日本社会学会(編) 伊藤奈雄	社会学評論 社会運動の参加／不参加をめぐる意味構築 : アイヌ民族による権利獲得運動を例にして		224	日本社会学会	A5	797~813
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	人権年鑑 2005-2006(2004. 4-2005. 3) アイヌ民族			部落解放・人権研究所(発売: 解放研究所)	A5	377
北海道開拓記念館(編) 出利葉浩司 東俊佑 三浦泰之 田村将人 山田伸一	北海道開拓記念館研究紀要 写真に残されたアイヌ資料 : セントルイス万国博覧会に参加したアイヌの人々とその道具 北蝦夷地在住・栗山太平の活動 開拓使に雇われた「画工」に関する基礎的研究 20世紀前半のある樺太アイヌ村落の歴史的な位置づけ 「北海道鹿猟規則」施行後のアイヌ民族のシカ猟		34	北海道開拓記念館	B5	156 41~56 57~80 81~112 113~128 156~129(縦組1~28)
北海道開拓記念館(編) 舟山直治、為岡進 右代啓視、鈴木琢也、山田悟郎ほか 出利葉浩司 松本あづさ、三浦泰之、東俊佑	北海道開拓記念館調査報告 北海道における民俗芸能の伝承に関する研究 : 2005(平成17)年度調査概要 アイヌ伝統芸能に関する言及若干あり。 稚内市泊岸1号・2号チャンの地形測量調査報告 バシフォード・ディーンが収集したアイヌ民族資料について : ディーン・ノート 解題 近藤家資料のなかの異国船関係史料		45	北海道開拓記念館	B5	242 63~74 87~106 107~174 242~205(縦組1~38)
北海道埋蔵文化財センター(編) 古原敏弘	北海道立埋蔵文化財センター年報 平成17(2005)年度 【講演会要旨】美々8遺跡の木製品とアイヌ民具について		7	北海道立埋蔵文化財センター	A4	46 3~7
永田良茂 板橋義三 古田金彦	語源研究 川地名に関する人体語例 : アイヌ・縄文語の立場から アイヌ祖語における音韻の特徴 母音の最短か、ピッチアクセントか?(下) : 樺太アイヌ語の母音の長短と北海道アイヌ語のピッチアクセントとの史的関係からのアプローチ 語源学講座(7) 「アイヌ」という言葉の成り立ち		44	日本語語源研究会		26~35 88~100 108~116
磯部恵津子 井筒勝信 宇佐照代 小野有五 貝澤美和子 片山弘子 門崎允昭 門崎允昭 熊谷カネ	平成17年度 普及啓発セミナー報告集 アイヌ民族に生まれて アイヌ語旭川方言の昨日・今日・明日 : 研究から実践へ アイヌ文化伝承活動について 知里幸恵のメッセージを聴く イオルとアイヌ語地名 フチから学んだアイヌ文化 アイヌとトリカブト アイヌとヒグマ 父と母にみたアイヌの心			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	140 6~9 10~19 20~21 22~30 31~36 37~40 41~48 49~54 55~60

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号 通巻	発行者	判型	ページ
佐々木馨 瀬川拓郎	アイヌ史における二大改宗騒動 アイヌ・エコシステムと縄文エコシステム : 自然利用からみたアイヌ社会のなりたち				61～68 69～73
高木崇世芝	近世蝦夷地の地名				74～80
高橋理	アイヌ民族における送り儀礼				81～86
中村和之	アイヌ民族と北方の交易				87～93
鍋澤保	サルウンクルとして				94～98
平澤隆二	個人から観たアイヌ観・アイヌ民族としての私個人				99～102
平野正美	アイヌ文化を子どもたちと学び続けて20年 : 市立和光小学校での実践				103～111
平山裕人	アイヌ史の学習にチャレンジ				112～116
福士廣志	留萌地域のアイヌ文化 : 少ない情報から探る地域のアイヌ文化				117～123
鮎田晃男	北海道アイヌとして生まれて : 昔と今				124～126
松村博文	歯が語るアイヌの先住性				127～134
山本融定	アイヌ民族の歴史 : アイヌの詩人・森竹竹市を中心に				135～140
加藤忠	平成17年度 普及啓発講演会報告集 アイヌ民族の歴史と文化 : 共生への道 2005年7月30日、岡山コンベンションセンターにおける講演の記録。		アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	54 1～10
百々幸雄	アイヌと縄文人 : 日本列島の礎を築いた人びと 2005年8月20日、秋田市文化会館における講演の記録。				11～20
馬場悠男	日本列島住民の形成 2005年10月15日、東京国際フォーラムにおける講演の記録。				21～40
大島直行	アイヌ文化は誰がつくったのでしょうか : 考古学や人類学からわかったこと 2005年11月18日、とかちプラザ(帯広市)における講演の記録。				41～54
	北海道遺産とまちづくり Prat II アイヌ口承文芸 白老町 アイヌ文化を担うという誇りを大きなうねりに(白老町環境生活課)/平取町 ロ口承文芸を学び、伝える(川上将史)/アイヌ無形文化伝承保存会 アイヌ口承に文芸への理解を深めるためのきかけづくり(アイヌ無形文化伝承保存会) 他にも「サケの文化」などに若干の関係記述あり。		北海道遺産構想推進協議会	A4	143 98～103
	アイヌ口承文芸 他にも「サケの文化」などに若干の関係記述あり。				98～103
	北海道大学シンポジウム 先住民族と大学 報告集 2005年12月11日に同シンポジウム準備委員会の主催(北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター共催)で開催されたシンポジウムの報告書。		[北海道大学]	A4	39
林忠行 中村睦男 リリカラ・カメエレイ ヒワ	はじめに 開会の辞 ハワイ大学・ハワイ研究センターの歴史と活動				iii～iv 1～5 7～12
リチャード・モネット 佐藤知己 加藤忠	アメリカの先住民とロースクール 北海道大学におけるアイヌ語研究の過去・現在・未来 アイヌ民族が北大に望むこと				13～21 23～31 33～37
the Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture	Paye =an ro : Let's Experience Ainu Culture! 『バイエアン ロ ふれてみようアイヌの文化』の英語版。2005年3月発行の増刷。		アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	バイエアン ロ ふれてみようアイヌの文化 2005年3月発行の増刷。		アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44
さかい ちひろ(作、絵)	やなぎのはのさかな [絵本] アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成17年度最優秀賞作品)		アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28
静内町(編)	静内 まちの記憶 : 閉町記念写真集 縄文時代～寛文9年/元禄13年～文久2年/明治11年～明治20年 「儀式用の服装をしたアイヌの人たち」などの写真あり。		静内町	A4	79 12～13, 14～15, 18～19
説話・伝承学会(編) 高島葉子	説話・伝承学 アイヌとケルトの異類婚姻譚 : カムイと人の婚姻と妖精と人の婚姻	14	説話・伝承学会		159～177
日本語学会(編)	言語研究	129	日本語学会		

2006年3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
切替英雄	【フォーラム】アイヌ語の1を示す数詞					227～242
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(伝承聞き取り調査Ⅱ)			北海道教育委員会	B5	101
	はじめに/大坂ナオさんの伝承/出現語彙一覧					
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 アイヌ無形民俗文化財調査報告書(ユーカラシリーズ28) 私を助ける為に神が大鯨を頼んだ/自分を振って回り歩く			北海道教育委員会	B5	205
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 知里真志保フィールドノート(5)			北海道教育委員会	B5	194
	知里真志保のプロフィール(萩中美枝)/〔解題〕金成マツによるテキスト(切替英雄)/〔解題〕「知里ハツによる物語」のテキスト(佐藤知己)/「菊池クラによる物語」のテキスト(高橋靖以)/分担と謝辞(切替英雄)/第1章 金成マツによる物語/第2章 知里ハツによる物語/第3章 菊池クラによる物語/付録A チリ マシホ テケスイエカンビ232/付録B チリ マシホ テケスイエカンビ233/付録C チリ マシホ テケスイエカンビ234/付録D チリ マシホ テケスイエカンビ235/付録E チリ マシホ テケスイエカン					
北海道考古学会(編)	北海道考古学		42	北海道考古学会	B5	
女鹿潤哉 西田茂 寰島栄紀	下北アイヌ社会成立についての一考察 石狩低地帯南部における遺跡の形成と水位の変動 【書評】瀬川拓郎著『アイヌ・エコシステムの考古学 : 異文化交流と自然利用からみたアイヌ社会成立史』					93～108 109～116 135～138
椋山女学園大学研究論集編集委員会(編)	椋山女学園大学研究論集 社会科学篇		37	椋山女学園大学		
上田伝明	アイヌ民族の現状と課題(2)					1～11
	アジア文化史研究		6	東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻		
黒岩聡奈 女鹿潤哉	明治初期における博覧会から見たアイヌの生活 下北アイヌ社会の成立過程についての研究					39～66 158～115
	帝塚山大学人文科学部紀要		20	帝塚山大学		
水上勲	「鬼—法眼」式話型と義経伝説 : アイヌの義経伝説と御草子『御曹司島渡』を中心に					23～42
岩手県立博物館(編)	岩手県立博物館研究報告		23	岩手県立博物館		
天理大学文学部歴史文化学科歴史学専攻(編)	史文		8	天理大学文学部歴史文化学科歴史学専攻		
岡田千代美	アイヌ民族と北方世界 : 17～19世紀北海道周縁地域の変化					36～59

2006年4月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
【2006年4月】						
とよむらいつし 上伊澤ひろし	LERA・風 アイヌ創作民話4 ススコナム(柳の葉) 風の橋 4 [創作]	4		児童文学創作同人 LERA・風	B6	112 66～69 70～106
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化28 山本多助の姿(2)		328	グラフ旭川	B4	
渡辺三子	郷土誌あさひかわ 三子問わず語りの記⑨「戦後60年忌」特集② 川村カ子ト、荒井源次郎を取り上げる。	47	4	482 郷土誌「あさひかわ」	B6	58 40～43
板谷等	文芸 江さし草 創刊30周年記念誌 菅江真澄日記 えみしのさへきの植物		120	江さし草舎	A5	223 196～207
谷本晃久	北の青嵐 彼女はなぜ髪を切ったのか? : 安政3年、択捉島アイヌ女性の「散髪」 一件をめぐる		152	北の青嵐	B5	1～8
榎原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 32 難読地名地帯を歩く・その1	36	4	425 水交社	B5変型	146 105～107
『飛礫』編集委員会(編)	飛礫 特集:扶桑社謝罪す! 教科書アイヌ民族差別事件		50	つぶて書房(発行)、れん が書房新社(発売)	A5	156
『飛礫』編輯委員会 川村シンリッエオリパ ックアイヌ	扶桑社謝罪す! 教科書アイヌ民族差別事件特集にあたって 写真無断使用、扶桑社謝罪する : 旭川市副読本作成のとりくみをふま えて					4～5 6～13
黒田秀之	2006年2月5日大阪での「アイヌ民族と連帯し扶桑社教科書を批判する集会」での講演をもとにしたもの 扶桑社は謝罪したけれど… : 検定教科書(公民)糾弾のとりくみ 資料「アイヌ民族と連帯し、扶桑社教科書を批判する集会(大阪)へのメ ッセージ/扶桑社関連文書(抗議ならびに要請・回答文/和解書)					14～19 20～24
川村久恵 結城庄司	共に生きる未来のために アイヌの教育について考える アイヌモシリ「北方領土」論					25～27 28～39
黒田伊彦 石黒文紀 日比野裕司 舟木暢夫、坂口大介	出典:『差別とたたかう文化 10』(明治図書、1981年7月) 教科書におけるアイヌ民族 : 日本人(和人)の認識を問う 学校教育におけるアイヌ民族 アイヌ民族についての北海道の教育の現状 アイヌ民族を学校に招いて					40～52 53～64 65～67 68～73
清水早子 山本多助(採録)、山 本一昭(編集)	2006年2月5日大阪での「アイヌ民族と連帯し扶桑社教科書を批判する集会」での講演をもとにしたもの ザワウ風吹く島に基地はいらない! アイヌ民族の伝説 第8話 カワウソに見込まれた娘					90～92 134
知里幸恵文学資料室(編)	知里森舎通信 『知里森舎 早春の便り』(2006年4月付、4ページ、写真:横山孝雄)を添付		17	知里森舎	B5	13
萱野茂(監修)、須藤功(著)	日本各地の伝統的なくらし7 北国・ アイヌの伝統的なくらし			小峰書店	A4	55
小杉康(編) 深澤百合子	はじめに 自然とともに生きたアイヌ民族/第1章 アイヌ民族の衣食住(アイヌの村/住まい/食事/衣服)/第2章 アイ ヌ民族の仕事(狩り/採集/物づくり/交易)/第3章 アイヌ民族の行事(儀式/結婚式/葬式)/第4章 アイヌの遊びと文 化(遊び/文化)/アイヌの将来(アイヌの文化を次の時代へ)/指導の手引き(本書を活用される指導者・保護者の皆さんへ)/全巻索引					
赤羽正春	心と形の考古学 : 認知考古学の冒険 ポストプロセス考古学からの提言			同成社	A5	287 23～31
赤羽正春	ものと人間の文化史 133-1 鮭・鱒 I 民族学・アイヌ研究との接触 この他にも関係記述あり			法政大学出版局	A5	270
赤羽正春	ものと人間の文化史 133-2 鮭・鱒 II アイヌの鮭「送り」儀礼 アイヌの鮭料理 以上の他にも関係記述あり			法政大学出版局	A5	327
松木新	よだん アイヌを描いた文学 新田次郎『最後の叛乱』		5月号	文友社出版	B5	36 27

2006年4月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
小林純子 成田英敏 港敦子 阿部ユボ 長岡伸一	先住民族の10年 News		123	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	アイヌ民族共有財産、最高裁「棄却」に思う					2～4
	「銀の滴講読会」の15年に思う					6
	知里幸恵『アイヌ神謡集』を韓国語に翻訳する試み					7～9
	第11会期国連人権委員会「先住民族権利宣言作業部会」参加報告					10～13
金倉義慧	旭川・アイヌ民族の近現代史			高文研	B6	561
	3 モア通信		3	音威子府村総務課地域振興 室エコミュージアムおさし まセンター「BIKKY アト リエ3モア」	B4	2
佐々木潤之介	民衆史を学ぶということ			吉川弘文館	B6	258
	アイヌ新法について					239～244
	初出は『季刊 科学と思想』80号、1991年4月。					
米田綱路「よねだこうじ」 (編)	はじまりはいつも本 : 書評的な話			パロル舎	B6	541
米田綱路、小笠原信之 (対談)	歴史の「清算」を許さず アイヌ近現代史を凝縮する「アイヌ共同権財産 裁判」を問う : 小笠原信之さんと					308～327
	初出は『図書新聞』2004年6月26日付。					
平山裕人	アイヌ語古語辞典			平山裕人	B5	280
	巻末に索引あり。発行年月日確認できず。ここでは「おわりに」の日付による。					
	開発こうほう		513	北海道開発協会	A4	44
国土交通省北海道局総 務課アイヌ施策室	アイヌの伝統的生活空間“イオル”の再生					6～9
日外アソシエーツ (編)	日本文物文献索引 文学 1991-2005			日外アソシエーツ	B5	1298
	バチェラー八重子					873
	くしろ地名考			釧路地方の地名を考える会	A4	10
礪川全次	異端の民俗学 : 差別と境界をめぐ って			河出書房新社	B6	210
	喜田貞吉と「賤民」の歴史民俗学					416
						50～77
中央公論		121	4	1463 中央公論新社	A5	416
宇井眞紀子	「グラビア」アイヌ民族の伝統的な結婚式					38～40
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキ スト Vol. 1			アイヌ文化振興・研究推進 機構	A4	36
	講師: 熊谷カネ (様似アイヌ語教室講師)					
徳島県同和対策推進協議会 (編)	2006年度 展望			徳島県同和対策推進協議会	A5	110
	「扉のこぼれ」語り継ぎたいこと					1
	「グラビア特集」アイヌの人々 今を生きて					2～14
	「取材特集」アイヌ民族に関する博物館等を訪ねて					81～104
新里忠史、重野聖之、 高清水康博	歴史地震		21	歴史地震研究会		
	北海道における地震に関するアイヌの口碑伝説と歴史記録					121～136

2006年5月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年5月】						
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化29 山本多助の姿(3)		329	グラフ旭川	B4	71 59
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 33 難読地名帯を歩く その2	36	5	426 水交社	B5変型	146 105～107
小林純子 中村平	先住民族の10年 News アイヌ民族初の国会議員、萱野茂さん逝去 「先住民族研究・支援活動」のありかたを考える 2006年3月25・26日に開催されたワークショップ「先住民族研究・支援活動における責任と義務 先住民族の権利と国際機構の視点から考える」の感想。		124	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 3 14～15
向井豊昭	WB Waseda Bungaku Free Paper 【創作】劇団桜天幕 「北蝦夷地惣乙名キムラカアエノ」に関わる内容あり		4	早稲田文学会/早稲田文学編集室	A4	20 1～3
	オホーツク文庫 レラ 伊藤せいち「北海道における日本語地名」を収録。		4	オホーツク文化資料館	B5	12
松木新	よだん アイヌを描いた文学 寒川光太郎『吹雪と原始林』		6月号	文友社出版	B5	36 27
加藤幹郎(編)	映画学的想像力 : シネマ・スタディーズの冒険			人文書院	A5	232
板倉史明	アイヌ表象と時代劇映画 : ナショナリズムとレイシズム					132～149
三木理人	国境の植民地・樺太 主要目次 プロローグ 国境と植民地/I 豊原出現/II 北海道に倣って/III 紙の王国/IV 越境する人々/V 森林から石炭へ/エピローグ 鉄のカーテンの彼方へ			塙書房	B6	173
多原香里	先住民族アイヌ Yay Yukar Park 第13回鹿狩りキャンプ/最近までの活動報告/ごまめの歯ざしり/西本願寺・連続差別落書き事件/連載 食いものノート「親父料理術入門」15/閑話/事務局点描			にんげん出版 53 ヤイユカラの森	B6 B5	261 18
伊藤重道	東北民衆の歴史 古代蝦夷と律令国家の展開 蝦夷論の到達点 アイヌ社会論や未来社会論、性道德 第3章「封建の世への根源的批判者 安藤昌益」の一部。			無明舎出版	B6	477 21～23 23～28 134～139
東村岳史	戦後期アイヌ民族ー和人関係史序説 : 1940年代後半から1960年代後半まで 序章 問題の所在/第1章 『現代のアイヌ』における「現代」の位相/第2章 「熊祭り」の政治学/第3章 観光という磁場の力学/第4章 「名作」の誕生と受容 : 『コタンの口笛』の児童文学性/第5章 「名作」の誕生と受容 : 『森と湖のまつり』の素材と主題/第6章 千島アイヌと「領土返還」運動/第7章 和人が語るアイヌ民族の「誇り」/第8章 ユートピアを志向する「開拓精神」とフロンティア/第9章 「道民」は「人間のルンポ」か/第10章 農地改革、北海道不良環境地区対策、そして北海道旧土人保護法存廃論争/終章「			三元社	A5	356
日本考古学協会(編)	日本考古学協会第72回総会 研究発表要旨			日本考古学協会	B5	351
加藤博文、内山幸子ほか	知床半島チャシコツ岬下B遺跡で確認したオホーツク文化終末期のヒグマ祭祀遺構について					166～169
柳田国男	柳田国男全集 第23巻 アイヌの家の形 初出は『東京人類学会雑誌』第26巻第269号(1910年11月20日)。巻末解題でもこの論文への言及あり(827～828頁)			筑摩書房	A5	830 709～710
清水清次郎 岡村正吉	北海道れきけん 西日本にアイヌ語地名は存在しないとする地名学者の見解は誤り 蝦夷地関係年譜		61	北海道歴史研究会	B5	20
村井章介	境界をまたぐ人びと 日本史リブレット28			山川出版社	A5	
	エミシからエゾへ : 北辺の統治世界と民族境界					5～25
谷川健一	谷川健一全集 1 白鳥伝説 初出は『すばる』1982年9月号～1985年3月号、単行本は集英社から1986年1月発行、その後1997年4月小学館ライブラリーとして発行。			富山房インターナショナル	A5	548

2006年5月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
三文字孝司 板橋由雄	地名 夫内・音無はアイヌ語地名か 神呪「千魚又次郎八百長歳」		23	宮城県地名研究会	A5	100 19～29 62～71
岡本孝之 川島正一 坂本彰	利根川 マンローと横浜一般病院の銘板 芹沢長介 軽井沢満郎〔マンロー〕 譜		28	利根川同人	B5	96 1～6 79～84 88～90、 後表紙
八幡耕一、多原良子	国際広報メディアジャーナル 持続可能な地域社会の構築と先住民族の社会的主体化 : アイヌ民族と 北海道の協働に向けた国際広報メディア学的序説		4	北海道大学大学院国際広報 メディア研究科	A4	207 185～205
根室市歴史と自然の資料館 (編) 猪熊樹人	くるまいし 根室市歴史と自然の資料 館だより 長崎県に所在する近世根室、蝦夷地関係資料調査概要 松浦史料博物館所蔵資料などについて報告あり		21	根室市歴史と自然の資料館	B5	26 19～22
平取町づくり振興課広報 広聴係(編)	広報びらとり 故・萱野茂氏のご冥福をお祈り申し上げます		555	平取町	A4	12 5

2006年6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年6月】						
岡雅彦	グラフ旭川		330	グラフ旭川	B4	67
	アイヌの文化30 山本多助の姿(4) イタッカシカムイ(言葉の霊)					67
	スブンケン		121	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2(1枚)
	常呂川の流れから(3) 「松浦武四郎の最後の探検」ほか					1～2
中村聖司	季刊 ゴーシュ		6	季刊ゴーシュ編集委員会	A4	24
	追悼 伊福部昭					6～7
渡辺三子	郷土誌あさひかわ	47	6	郷土誌「あさひかわ」	B6	58
	三子問わず語りの記⑩砂澤ビッキのこと					38～40
内田祐一(文、写真)	広報おびひろ		985	帯広市企画部広報課	A4	20
	「ふるさと見聞録」アイヌの人々の生活111 クモ					20
青木茂治	地理学評論	79	7	日本地理学会(発行)、古今書院(発売)	B5	
	【書評】北海道立アイヌ民族文化研究センター編：アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－					399～401
榊原正文	北海道のつり	36	6	水交社	B5変型	146
	「ほいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 34 発寒区ができる!?		427			105～107
編集部(文責)	部落解放		566	解放出版社	A5	124
	マイノリティ当事者からの訴え：「人権の法制度を提言する市民会議」結成記念集会から					64～69
	スブンケン		122	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2(1枚)
	常呂川の流れから(4) 「クトイチャンナイで一泊」ほか					1～2
松木新	よたん		7月号	文友社出版	B5	36
	アイヌを描いた文学 イサベラ・バード『日本奥地紀行』					21
出村文理	ニール・ゴードン・マンロー博士書誌： 帰化英国人医師・人類学研究者			出村文理	B5	303
I ニール・ゴードン・マンロー博士小伝/II ニール・ゴードン・マンロー博士著作目録/III ニール・ゴードン・マンロー博士参考文献目録/IV ニール・ゴードン・マンロー博士関係文献(解説)/V 酪農学園大学譜族図書館マンロー文庫(ニール・ゴードン・マンロー博士旧蔵書)目録等/VIニール・ゴードン・マンロー博士・谷万吉(喜治郎)氏往復書簡/ニール・ゴードン・マンロー博士関係資料所蔵機関一覧/あとがき/集録文献索引						
黒田秀之	先住民族の10年 News		125	先住民族の10年市民連絡会	B5	
	萱野茂さんをしのんで その1 差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」札幌高裁棄却					
竹内渉	けーし風		51	新沖縄フォーラム刊行会議	A5	92
	【北の風・南の風】追悼・萱野茂アイヌ					20～21
本多貢	しゃりばり		293	北海道総合研究調査会	B5	
	北海道の地名アラカルト③ 雌♀と雄♂					62～64
竹内渉	部落解放 2006年6月増刊号		567	解放出版社	A5	187
	麻生外相の「一民族」発言					128～131
山本正	近世蝦夷地農作物誌			北海道大学出版会	A5	321
	アイヌとアワ・ヒエ					51～72
学習院大学史料館(編)	写真集 明治の記憶：学習院大学所蔵写真			吉川弘文館	A4	230
	明治14年明治天皇北海道・出羽巡幸写真(「千歳村土人」「勇払郡植苗村」「アイヌ三人像」「アイヌ舎」「アイヌ熊祭り」「アイヌ男女」「アイヌ室内」「アイヌ」あり) 明治26・29年郡司成忠海軍大尉・報効義会写真(「シャコタン村長ヤコブ」「色丹島土人風俗」などあり) 明治44年東北帝国大学農科大学博物館写真帳(「古器物」「アイヌ家具及び宝物」「アイヌ家具」「アイヌ工芸品」「アイヌ漁猟具」「アイヌ熊送り」などあり)					
北海道開拓記念館(編) 田村将人	北海道開拓記念館だより	36	1	北海道開拓記念館	A4	7
	フィールドからの便り「色丹島訪問記」		191			4～5

2006年6月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通 巻	発行者	判型	ページ
北海道埋蔵文化財センター(編)	釧路町東陽1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第230集			北海道埋蔵文化財センター	A4	120
北海道埋蔵文化財センター(編)	恵庭市柏木川4遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第229集			北海道埋蔵文化財センター	A4	154
北海道埋蔵文化財センター(編)	北斗市矢不來6遺跡、矢不來11遺跡、館野4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第235集			北海道埋蔵文化財センター	A4	161
北海道立北方民族博物館	北方民族博物館だより ロビー展 北方の船		61	北海道立北方民族博物館	A4	4 3
由良勇	チカプニコタンのウラッチセ			マルヨシ印刷	B5	127
天野哲也(研究代表者)	国際シンポジウム「骨から探るオホーツク人の生活とルーツ」予稿集			北海道大学総合博物館	A4	64
斉藤成也 増田隆一、佐藤文寛 石田肇	科学研究費補助金(特定領域研究(2))「中世考古学の総合的研究 : 学融合を目指した新領域創生」のうち新領域創生部門 A-01「中世日本列島北部からサハリンにおける民族の形成過程の解明 : 市場経済圏拡大の視点から」によるシンポジウム 諸民族の遺伝学的関係確定のための DNA 分析研究の現状 オホーツク文化人の遺伝的特徴 オホーツク文化人骨群に地域性は存在するか					1~7 36~39 46~50
科学技術社会論学会編集委員会(編)	科学技術社会論研究		4	科学技術社会論学会		
植木哲也	アイヌ研究と知の権力					142~151
国土交通省北海道局(監修)	北海道の開発 2006 アイヌ関連施策			北海道開発協会	A4	86 68~69
平取町づくり振興課広報広聴係(編)	広報びらとり		556	平取町	A4	10
	[写真で見るびらとり歴史探訪] オキクルミカムイ700年祭を記念し、昭和43年6月23日に義経ランドで開催されたクマ祭り					10
飛磔編集委員会(編)	飛磔		51	つぶて書房	A5	
仲吉喜行 結城庄司 安仁屋政昭	南北の塔と弟子豊治さん 弟子豊治氏に聞く 沖縄戦を語りつぐ : アイヌ民族と真栄平部落住民の交流					40~47
『アソシエ』編集委員会(編)	アソシエ 特集 日本の超国家主義		17	御茶の水書房		
川元祥一	ナショナリズムの弁証法 : 列島文化(アイヌ・沖縄・和人)構築へ					

2006年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年7月】						
本田優子	The JR Hokkaido		221	北海道ジェイ・アール・エージェンシー	B5	48
	[札幌大学 Think with Ambition]No.4 アイヌ民族の「歴史」を軸に考える					31
岡雅彦	グラフ旭川		331	グラフ旭川	B4	74
	アイヌの文化31 山本多助の姿(5) イタッカシカムイ(言葉の霊)					63
	スブンケシ		123	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2(1枚)
	常呂川の流れから(5) 「老人しかないアイヌコタン」					1~2
榊原正文	北海道のつり	36	7	428 水交社	B5変型	146
	「ほいど」漢語のアイヌ語紀行 Vol.35 「毛無山」には「毛」は「無い」か?					107~109
岩崎まさみ	季刊 北方圏		136	北方圏センター	B5	90
	岩崎グッドマンまさみの講義録① 多様化する日本社会					12~17
農山漁村文化協会(編)	伝承写真館 日本の食文化 1 北海道・東北1			農山漁村文化協会	A5	170
	農山漁村文化協会発行『日本の食生活全集』の聞き書き部分を除いて再構成したもの。「アイヌ」の項は39~60ページ。					
萩中美枝 杉村京子	すべてのものに神宿る : 清廉なアイヌの食文化					40~42
	自然に生かされ育まれて					59~60
アイヌ語地名研究会(編)	アイヌ語地名研究会会報		27	アイヌ語地名研究会	B5	8
	本年度の旭川大会が盛大に開催される					1
平隆一	「第10回アイヌ語地名研究大会 in 旭川」に参加して					2
	「アイヌ語地名研究大会 in 旭川」に参加して					3
地蔵慶護	『地名アイヌ語辞典』勉強会開催される					3
	えにわ地名小史(1)					4
地蔵慶護	「母」の比較語彙					5
	ばくりっこ(交換)して食べた弁当の味					5~6
鳴海日出志 山下弦橋	図書・会誌・会報・論文などの紹介					7~8
部落解放・人権研究所(編)	部落解放・人権法令資料集 第3版			部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	323
	アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律					167~170
	北海道旧土人保護法					320~321
星野紘、芳賀日出男(監修)	日本の祭り文化事典			東京書籍	B5	987
	アイヌ古式舞踊					49~50
谷本一之	アイヌの建築技術及び儀礼					50~51
	アイヌのユーカラ					51~52
秋野茂樹	イオマンテ					52~53
	スブンケシ		124	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2(1枚)
	常呂川の流れから(6) 「ヌツケシの様子」ほか					1~2
松木新	よだん		8月号	文友社出版	B5	36
	アイヌを描いた文学 ジョン・パチラー『我が記憶をたどって』					19
木村真希子 松岡晴	先住民族の10年 News		126	先住民族の10年市民連絡会	B5	24
	第5会期国連先住民族問題に関する常設フォーラム参加報告					6~7
	[今月の本]『戦後期アイヌ民族—和人関係史序説 : 1940年代後半から1960年代後半まで』/東村岳史著					13
	萱野茂さんをしのんで その2					14~17
	母語話者を復活させた偉大な功労者(田村すゞ子)/アイヌ ネノアン アイヌ(秋辺日出男)/萱野茂さんの「思い」に向き合えるか(上村英明)/おじさんへ(貝澤耕一)					
函館市北方民族資料館(編)	華麗なアイヌ衣装の世界 : 児玉コレクション			函館市文化・スポーツ振興財団	B5	34
	衣服に施される文様					5~6
本多貢	しゃりばり		294	北海道総合研究調査会	B5	76
	北海道の地名アラカルト④ 黒川異聞					66~69

2006年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
知里幸恵文学資料室(編)	知里森舎通信 『知里森舎 夏の便り』(2006年7月付、4ページ、写真：横山孝雄)を添付		18	知里森舎	B5	13
天野哲也、臼杵勲、菊池俊彦(編)	北方世界の交流と変容 : 中世の北東アジアと日本列島			山川出版社	B6	216
佐々木史郎	サンタンとスメレンクル : 19世紀の北方交易民の実像					12~55
中村和之	金・元・明朝の北東アジア政策と日本列島					100~121
天野哲也	アイヌ文化形成の諸問題 : 歴史教育におけるアイヌ文化の意味					122~133
長谷巖	日本史教育と北東アジア・北海道 : 日本史教育の立場から					158~168
吉嶺茂樹	「歴史教育者」教育・世界史教育からのコメント					169~184
須貝光夫	コプタン 語りたし わが民族のために : 札幌東高等学校歴史学研究同好会生徒と鳩沢佐美夫の対談		27	コプタン文学会	A5	121 2~45
木名瀬高嗣	〔資料紹介〕鳩沢佐美夫『証しの証文』の改稿断片二葉					46~52
須田茂	鳩沢佐美夫への新たな視点					53~65
須貝光夫	鳩沢佐美夫がかかわった三つの同人誌(中) 書きたし、わが民族のために : 鳩沢佐美夫と山音文学					66~106
盛義昭	『日高文芸』機関紙「葦通信」のこと : 鳩沢佐美夫を中心に					107~113
佐藤宏之	季刊 東北学 〔書評〕伝統的パラダイムを越えたアイヌ文化の提示／瀬川拓郎『アイヌ・エコシステムの考古学』		9	東北芸術工科大学東北文化研究センター(発行)、柏書房(発売)	A5	274 266~269
井上寿	アイヌと虫の生活誌 発刊のご挨拶(松本成美)/昆虫のアイヌ名鑑覧/文献目録/調査、研究の経緯/あとがき 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版			釧路アイヌ文化懇話会	A5	176
菊池俊彦、鈴木靖民、 寰島栄紀	列島の古代史 ひと・もの・ころ 1 古代史の舞台 北海道 アイヌ文化の源流と擦文化・オホーツク文化			岩波書店	A5	438 11~62 45~47
内山綾子 丸山靖生 高橋明雄 かいどうしげあき	留萌文学 追悼 藤本英夫さん/やさしさと、大きさと、強靱な意志と アイヌ文化研究・考古学研究・伝記・日韓交流に大きな足跡 主な著作、『留萌文学』に発表された作品などを紹介。下記の他にも関係する文あり。 唯 哀惜 藤本先生の急逝を悲しむ 小さな旅の大きな思い出 藤本英夫先生を偲ぶ 藤本先生を悼む		91	留萌ベンクラブ	A5	256 2~5 13~16 17~19 19~20 21~27
青柳信克 鹿田川見 鹿田川見	みゅじあむ 〔学芸員解説〕オオカミ 博物館講座「アイヌ文化」 所蔵品目録から		23(通 巻87)	旭川市博物館	A4	16 3 5 6
渋江長伯(著)、山崎栄作(編)	東遊奇勝 帰路編 渋江長伯シリーズ 下 アツケンから青森までの行程を記す。			山崎栄作	A5	418
	財団のあらまし			アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	25
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2 講師：熊谷カネ(様似アイヌ語教室講師)			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	36
帯広叢書編集委員会(編)	吉田蔵資料集22 虻田第二尋常小学校同窓会資料 2 帯広叢書第56巻 口絵写真/1 文書綴1-4(虻田第二尋常小学校同窓会)/2 出現語彙一覧/あとがき/3 原資料/2005年11月に刊行した同内容の資料集を帯広叢書として再刊したもの。			帯広市教育委員会	B5	250
法曹会(編) 大内捷司	法曹 知里幸恵と『アイヌ神謡集』		669	法曹会		2~12
豊田實大	山名が語ること : 豊かな発想で見つめる コピー製本。発行年月日記載なし。ここでは「はじめに」の日付(7月20日)より7月発行と判断した。			〔私家版〕	B5	250

2006年7月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
	日本語とアイヌ語は近い						99～203
北海道教職員組合(編)	北海道の教育 第40集 第55次合同教育研究全道集会(稚内市)報告				北海道教職員組合	A5	564
	平和・人権教育 第14分科会						309～339

2006年8月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年8月】						
岡雅彦	グラフ旭川		332	グラフ旭川	B4	68
	アイヌの文化32 山本多助の姿(6)			イタッカシカムイ (言葉の霊)		57
	ヌプンケン		125	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2 (1枚)
	常呂川の流れから(7) 「ムイコツ子」ほか					1～2
渡辺三子	郷土誌あさひかわ	47	8	486 郷土誌「あさひかわ」	B6	58
	三子問わず語りの記①続「戦後60年忌」 砂澤ビッキ、三好文夫らを取り上げる。					34～36
内田祐一 (写真、文)	広報おびひろ			987 帯広市企画部広報課	A4	24
	【ふるさと見聞録】 アイヌの人々の生活		112	お酒		24
高橋周	日本歴史			699 吉川弘文館	A5	176
	中井竹山・中井履軒による蝦夷地政策			経済的側面からの再検討		38～53
榊原文文	北海道のつり	36	8	429 水交社	B5変型	146
	「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 36			らんらんらん、海水浴だ!		105～107
三橋誠之	北海道方言研究会会報			82 北海道方言研究会	B5	44
	九州の古地名と蝦夷語 第107回例会 (2006年4月30日) 発表資料					18～20
松本建速	蝦夷の考古学			同成社	B5	239
	序章 本研究の目的と方法/第1部 物質文化から見た蝦夷社会の成立/第2部 物質文化から見た蝦夷社会における人の動き/第3部 蝦夷とは誰か					
尾崎功	北海道海岸線 地名めぐりの旅 新旧 地形図が語る100選			北海道出版企画センター	B5	257
武田修	日本の遺跡13 常呂遺跡群			同成社	B6	181
	アイヌ文化の遺跡					143～160
松本龍	部落解放			570 解放出版社	A5	128
	萱野茂さんを偲んで					88～91
高橋弘章 (著)、高橋康弘 (編)	明治34年4月6日 : 開拓時代の北海道の林業に生涯を捧げた男の一生			考古堂書店	B6	401
	1979年刊の改版。 宗谷線のこと アイヌ人とアイヌ語					123～134 135～152
文化庁 (編) 伏島信治	わたしの旅 100選			文化庁	B5	
	北の大地への感謝と祈り : 縄文文化とアイヌ文化への旅					44～45
	ヌプンケン			126 北見市総務部市史編さん主幹	A4	2 (1枚)
	常呂川の流れから(8) 「ムニニンリウカ」ほか					1～2
松本新	よだん		9月号	文友社出版	B5	36
	アイヌを描いた文学 松浦武四郎『アイヌ人物誌』					18
向井豊昭 向井豊昭	〔創作〕怪道をゆく			BARABARA 書房	A5	174
	〔創作〕怪道をゆく 初出は『早稲田文学』2001年3月号					1～60
余市水産博物館	第32回余市水産博物館特別展図録 海に生きるアイヌ民族			余市水産博物館	A4	20
浅野清 浅野清 浅野清 浅野清	ざいん			10 未明舎 (室蘭市)	A5	226
	新聞小説『海洞 (アフンルパロ) の街』論					22～63
	金田一京助と知里幸恵と宮沢賢治					76～81
	宮沢賢治の北海道紀行 (その一)					106～137
	日・仏の世界的作家との出会い : アイヌ民族の文学に関心を抱く津島 佑子氏とル・クレジオ氏 初出は『室蘭民報』2006年4月9日付朝刊。大幅加筆あり。					186～191
	平成18年度 アイヌ工芸作品展			北海道ウタリ協会伊達支部	A4	16

2006年 8 月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
宮地正人、佐藤正ほか(編) 谷本晃久	新体系日本史1 国家史 「国家」史的視点からみた近世アイヌ社会 〈コラム〉欄				山川出版社	A5	354～363
阿部ユボ、澤井アク	2006国際先住民の日事業報告書 2006年8月6日に静内で開催された記念事業の記録。 国連報告要旨 質疑応答要旨もあり				北海道ウタリ協会	A4	53
松木新	アイヌを描いた文学 文友社ブックレット No. 1				文友社	A5	41
目黒雅子	音楽教育実践ジャーナル 私の実践(1)小学校 「アイヌ民族の音楽文化学習」と「会津とフィリピンのわらべうた」の授業実践から	4	1		日本音楽教育学会		48～52
木戸宏	シサム通信 5月6日—萱野茂さん—没 1992年8月21日の談話記録「ジャンパー着てしゃべるとラクだなあ」掲載。 萱野茂エカシの思い出 NHK 朝のドラマ「君の名は」(北海道編) テレビ版再放送と萱野茂さん 最高裁が上告を棄却 アイヌ民族共有財産訴訟			157	シサムの会		12 2～5 6 7 8

2006年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年9月】						
岡雅彦	グラフ旭川		333	グラフ旭川	B4	69
	アイヌの文化33 山本多助の姿(7) イタッカシカムイ (言葉の霊)					57
	スブンケンシ		127	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2 (1枚)
	常呂川の流れから(9) 「ヘテウコヒ」ほか					1～2
	月刊イズム	17	9	194 情報企画	A4	74
	アイヌの食が注目されている 北海道再生を観光で考える					18～19
榎原正文	北海道のつり	36	9	430 水交社	B5変型	146
	「はいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 37 さら・さり・さる・され・さろ					107～109
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ語地名を歩く : 山田秀三の地名研究から 2006・釧路／十勝			北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	62
	第1章 山田秀三のプロフィール/第2章 アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から/第3章 山田秀三を語る/第4章 山田秀三とアイヌ語地名を知るために 北海道立アイヌ民族文化研究センターによる企画展「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2006・釧路／十勝」の展示解説図録。同名の『2005・旭川』をもとに、一部新規原稿を補充し、第2章4を「釧路・十勝を歩く」と改めたもの。 9月2日付けで草風館版(増刷・一般販売用)発行。					
澤井春美(編)	アイヌ語十勝方言の基礎語彙集 : 本別町・澤井トメノのアイヌ語 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3			北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	319
	Ⅰ 概説/Ⅱ 調査報告 十勝地方のアイヌ語の基礎語彙集 (1 凡例/2 十勝地方のアイヌ語の基礎語彙/3 アイヌ語索引)					
	北海道遺産			北海道遺産構想推進協議会	A5	126
	アイヌ口承文芸/アイヌ文様/アイヌ語地名 他に「上ノ国と中世の館」「内浦湾沿岸の縄文遺跡群」などあり。					
小松田初美	先住民族の10年 News		127	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
	勇気を受け継ぐ マヤ先住民族女性を招いて : アナ・ペレスさんスピーキングツアー in 札幌					2～5
アナ・ペレス	日本スピーキングツアーを終えて					5～6
	スブンケンシ		128	北見市総務部市史編さん主幹	A4	2 (1枚)
	常呂川の流れから(10) 「アイヌから聞いた留辺蘂地区の地名」ほか					1～2
松木新	よだん		10月号	文友社出版	B5	36
三浦清宏	アイヌを描いた文学 徳富蘆花『みみずのたはごと』					20
	【創作】海洞 アフナルパロの物語			文芸春秋	B6	604
	第3部「海洞の契り」第7章「アイヌ青年同盟」あり。 初出は「海洞の街」『室蘭民報』2002年4月20日～2005年8月21日付連載 (2003年10月11日付から2004年7月4日付まで休載期間あり)。					
松岡未紗	衣風土記 Ⅰ			法政大学出版局	B6	245
	『きものと経営』連載「きもの風土記」(1980～87年)が初出か					
	アイヌのきもの アイヌ・愛と祈りの女文様 女の身を守り飾るもの アイヌの昔話					3～13 13～25 25～32 33～37
	IMADR-JC 通信		144	反差別国際運動日本委員会	A4	16
	特集: 沖縄、日本、人種主義					
	「先住民族の権利に関する国際連合宣言 : 人権のための闘いにおける重要な第一歩」					9～10
	阿部ユガ氏によるコメントの掲載あり。					
	Yay Yuka Park		54	ヤイユーカーの森	B5	38
	2006 春のキャンプ その1/2006 春のキャンプ その2/閑話 「サハリンⅡ」/最近までの活動報告/大西洋から太平洋へ 53回ピースボートの旅/ごまめの歯ざしり/西本願寺・連続差別落書き事件/連載 食いのノート 「親父料理術入門」16/閑話2 ひらふが宇一スラーに?/世界を知ろう ヒズボラとは何か/休題 『宣言』は採択されたけれど/事務局点描					
鏡味明克	人間文化		21	愛知学院大学人間文化研究所	B5	351
	アイヌ語地名の痕跡化					19～28 (318～309)

2006年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
北海道立近代美術館、アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	アイヌ文様の美 : 線のいのち、息づくかたち 2006年9月から2007年1月にかけて、北九州市立いのちのたび博物館及び北海道立近代美術館にて開催された、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による工芸品展の共通図録。			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	207
津田命子 佐藤友哉 浅川泰 日比野利信 松井和幸	アイヌ文様 : その変遷と技法について アイヌ文様の美、その発見 アイヌ文様の美 : 北方の装飾主義 アイヌ文化と九州 美々8遺跡出土遺物に印されたアイヌ文様					10~13 14~16 145~153 154~157 158~159
山本純郎 郷右近好古	イーストサイド 長靴の森 Vol. 3 銀のしずく 降る降る まわりに アイヌ古道を探す①		13	バルク・カンパニー	A4	88 32~33 67
下野道章	北方島文化研究 北海道における金属製錬について		4	北方島文化研究会(発行)、北海道出版企画センター(発行)	A4	60 1~18
宇梶静江	TOKYO 人権 アイヌ文化に輝きを…民族の誇りが息づく「古布絵」		31	東京都人権啓発センター	A4	8 2~4
檜皮瑞樹	史観 幕末期樺太におけるアイヌ支配の揺らぎと再編成 : トコンベ出奔事件をめぐって		155	早稲田大学史学会		18~35
丸山隆司 盛義昭 木名瀬高嗣 鳩沢佐美夫 鳩沢佐美夫	藤女子大学国文学雑誌 特集: 鳩沢佐美夫 〈位置〉について : 鳩沢佐美夫論にむけて 赤きもののような現象と赤い風船 鳩沢佐美夫の最初の日記について 鳩沢佐美夫日記Ⅰ(大学ノート) 資料 鳩沢佐美夫日記Ⅱ(カレンダー) 資料		75	藤女子大学国語国文学会	A5	82 13~22 23~25 26~35 36~64 65~79
多仁安代	日本語教育と近代日本 北海道のアイヌたち			岩田書院	A5	281 88~96
丹野郁〔たんの かおる〕(監修) 福山和子	世界の民族衣装の事典 アイヌ			東京堂出版	B5	407 16~19
北海道歴史研究会(編) 水無月怜〔山下弦橘〕	北海道れきけん 先住民族に見る詩歌の世界(8)(9)		62	北海道歴史研究会	B5	10 1~2、3
日本民主主義文学会北海道研究集会実行委員会(編) 松木新	北海道民主文学 アイヌを描いた文学 日本民主主義文学会北海道研究集会作品集		16		A5	384 363~384
萱野志朗 萱野れい子 大脇徳芳 貝澤ヨリ子(談)	二風谷アイヌ語教室 広報紙 故 萱野茂講師の足跡をたどる 写真で萱野茂氏をふりかえる ベレー帽にわらじ履き(1) 『北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成12年)』(2001年3月、北海道発行)からの転載。 萱野茂さんの死を悼む 訪問インタビュー 第81回		83	平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1~2 3 4 5 6~8
宇梶静江(古布絵制作、再話)	シマフクロウとサケ 白沢ナベによるコミュニケーションをもとにした再話。巻末に「このも絵本を読んで下さった皆様へ」の文あり。			福音館書店	25.5×31	31
恵庭市郷土資料館 佐々木稔、森英之	恵庭市郷土資料館年報 アイヌ文化期の蝦夷刀三口の鑄造法		12	恵庭市郷土資料館	A4	25 16~25
梅原猛	神殺しの日本 反時代的密語 なぜ、縄文文化か Ⅰ「神殺しの日本 反時代的密語」の一部。Ⅰは『朝日新聞』2004年4月20日付朝刊から3月21日付朝刊までの連載をもとにしたもの。 天台本覚論とアイヌ思想 金田一理論の光と影			朝日新聞社	B6	212 96~99 100~103 104~107

2006年9月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
	縄文研究 人類の根源の世界観を求める Ⅱ「大いなる知に導かれて」の一部。Ⅱは『日本経済新聞』2001年5月1日付から31日付連載「私の履歴書」に加筆したもの。					100～103
北海道開拓記念館(編) 右代啓視	北海道開拓記念館だより 第62回特別展 北の縄文 美の世界 【訃報】〔林昇太郎氏死去〕	36	2	192	北海道開拓記念館	A4 7 2～3
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編) 澤井春美	アイヌ民族文化研究センターだより 【研究課題紹介】十勝地方のアイヌ語の調査研究(基礎語彙)について 【『ボン カンピソシ』の写真から】1 サハリンの木綿衣 【公開資料の紹介】平成18年度に新たに公開した資料			25	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4 8 2 3 4～5
北海道立北方民族博物館	北方民族博物館だより 【講座】北太平洋地域の踊りと音 講師：大島稔(小樽商科大学教授)、甲地利恵(北海道立アイヌ民族文化研究センター研究職員) 【アイヌ文化講習会】かご編み(コイリング)を学ぼう 講師：知里眞希(クラフトデザイナー)			62	北海道立北方民族博物館	A4 6 4 5
松井一博	国際公共政策研究 アイヌ民族の権利と国際環境政策の展開：先住民族の文化権の保障から			11	大阪大学大学院国際公共政策研究科	235～254
上野昌之	早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊 1920-30年代のアイヌ民族の言論活動についての考察：自立と協同の視点から			14-1	早稲田大学大学院教育学研究科	B5 55～66
	第25回 アシリチェップノミ 9月18日札幌市(豊平側河川敷)にて開催。来場者用パンフレット。				札幌アイヌ文化協会	B5 28
福浦寛	北のとびら 「アイヌ通達人 吉良平治郎 アイヌネノアンアイヌ」公演を終えて			71	北海道文化財団	A4 16 10
考古学研究会編集委員会(編) 瀬川拓郎	考古学研究 異文化・商品・共生：交易と古代北海道狩猟採集社会の転換 考古学研究会第52回総会研究報告	53	2	210	考古学研究会	40～53

2006年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年10月】						
とよむらいっし 上伊澤ひろし	LERA・風 アイヌ創作民話5 カムイノミ (神に祈る) 【創作】風の橋 5	5		児童文学創作同人 LERA・風	B6	112 55～59 68～105
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化34 山本多助の姿(8) イタッカシカムイ (言葉の霊)	334		グラフ旭川	B4	63 51
	スプンケン 常呂川の流れから(11) 「常呂川の支流」ほか	129		北見市総務部市史編さん主幹	A4	2 (1枚) 1～2
遠藤匡俊	地理学評論 集團の空間的流動性からみたアイヌ集落の持続的な血縁関係 : 1856～1869 (安政3～明治2) 年の東蝦夷地三石場所を例に	79	11	日本地理学会 (発行)、古今書院 (発売)	B5	547～565
榊原正文	北海道のつり 「ほいど」浜師のアイヌ語紀行 Vol. 38 藻鼈と標津	36	10	431 水交社	B5変型	146 103～105
宮田汎	歴史地理教育 【読書室】『旭川・アイヌ民族の近現代史』金倉義慧著	705		歴史教育者協議会	A5	102 92～93
『飛礫』編集委員会 (編)	飛礫	52		つぶて書房 (発行)、れんが書房新社 (発売)	A5	168
山本多助 (採録)、山本一昭 (編集)	アイヌ民族の伝説 第9話 喋れなくなった犬					137
河野民雄	士別屯田史話 和人の足跡			士別郷土史研究会	A5	128 97～105
反差別国際運動日本委員会 (編)	「周縁化」「不可視化」を乗り越えて : 人種主義・人種差別等に関する国連特別報告者の日本公式訪問報告書を受けて			反差別国際運動日本委員会 (発行)、解放出版社 (発売)	A5	256
加藤忠	アイヌ民族に対する人種差別撤廃に向けて : 国際人権基準活用の観点から					44～60
歴史科学協議会 (編)	歴史評論 特集 : 平泉・衣川 北奥の遺跡群と北方世界	679		校倉書房	A5	112
斎藤利男 鈴木琢也	北方世界のなかの平泉・衣川 : 日本史における「北」の可能性 北日本における古代末期の北方交易 : 北方交易からみた平泉前史					2～16 60～69
岩崎まさみ	季刊 北方圏 岩崎グッドマンまさみの講義録② 多民族社会日本のチャレンジ	137		北方圏センター	B5	82 15～19
山口伸樹 中川裕	千葉大学ユーラシア言語文化論集 動物名称から見るアイヌ語合成名詞の諸特徴 アイヌ口承文芸テキスト集 7 白沢ナベロ述 狼が人間の母親に虐待された	9		千葉大学文学部ユーラシア言語文化論講座	B5	270 145～162 219～256
中村博男	松浦武四郎と江戸の百名山 平凡社新書344			平凡社	新書	198
	北海道の山					123～156
森原秀樹	先住民族の10年 News 「人種差別撤廃 NGO ネットワーク」結成 : 国連・ディエン報告書と国内での取り組み 人種主義等に関するディエン報告書に対する日本政府のコメント (一部抜粋) 「沖縄の人びと」及び「アイヌ民族に対する先住民族としての権利の保障」に関するディエン報告書と日本政府のコメントを紹介。	128		先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2～4 4～5
長谷川由希 長岡伸一 鶴沢加那子	カナダ・イヌイット訪問記 : ヌナヴィクとモントリオールへ 東京アイヌモシリ散歩 第2回 南極映画と樺太犬 サーミ民族最大の祭り、リデウ・リデウ・フェスティバル					6～8 9 10～11
松木新	よだん アイヌを描いた文学 大西雄三『湖の裁き』	11月号		文友社出版	B5	36 15
高崎市染料博物館	アイヌ女性の手仕事 : 織・編・縫 2006年10月19日から11月26日まで高崎市染料博物館にて開催された企画展のパンフレット。			高崎市染料博物館	1枚、29.6×14、折畳み。	

2006年10月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
本多貢	しゃりぼり 北海道の地名アラカルト⑦ 吉里吉里人はアイヌ		297	北海道総合研究調査会	B5	76 66～69
遠藤宏、遠藤美津恵	草の根社会福祉 アイヌ社会の文化と死生観 (その2) : シャーマニズムとの関連から		38	社会福祉研究センター	B5	230 135～171
藤野豊	忘れられた地域史を歩く : 近現代 日本における差別の諸相 「滅び行くアイヌ」像の復活 初出は『飛騨』連載 (2003年1月から2004年10月まで計8回)。単行本集録に当たって大幅加筆あり。			大月書店	B6	245 103～118
谷口貢、松崎恵三 (編)	民俗学講義 : 生活文化へのアプローチ 北海道民俗・沖縄民俗の特徴			八千代出版	B6	262 241～246
北海道開拓記念館	第62回特別展 北の縄文 美の世界 解説 (右代啓祝) / 第1章 造形と美 / 第2章 装飾と美 / 第3章 祈りと心 / 第4章 展示資料解説 (平川善祥、鈴木琢也、右代啓祝)			北海道開拓記念館	A4	66
苑原俊明	大東法学 先住民族の文化遺産の国際的保護 : 国連の動向とアイヌ民族	16	1	大東文化大学法学部	A5	37～60
小林孝二、大垣直明	日本建築学会計画系論文集 近代以前の絵画資料に描かれたアイヌ民族の建築に関する研究		608	日本建築学会計		127～134
北海道埋蔵文化財センター (編)	森町森川3遺跡 (2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第234集			北海道埋蔵文化財センター	A4	466
北海道埋蔵文化財センター (編)	北斗市矢不來7遺跡、矢不來8遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第232集			北海道埋蔵文化財センター	A4	350
アイヌ文化振興・研究推進機構 (編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 3 講師：熊谷カネ (様似アイヌ語教室講師)			アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	38
斎藤一	文芸言語研究 文芸篇 柳瀬尚紀「フィネガンズ・ウェイク 1～4」のアイヌ語地名について		50	筑波大学大学院人文社会科学研究科文芸・言語専攻		95～119

2006年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年11月】						
岡雅彦	グラフ旭川		335	グラフ旭川	B4	66
	アイヌの文化35 山本多助の姿(9) イタッカシカムイ(言葉の霊)					55
渡辺三子	郷土誌あさひかわ	47	10・11	488 郷土誌「あさひかわ」	B6	58
	彫刻家砂澤ビッキ氏の慰霊碑を北大研究林に建立					27～28
帯広市教育委員会図書館(写真・文)	広報おびひろ		990	帯広市企画部広報課	A4	16
	【ふるさと見聞録】帯広市の開拓碑 宮崎濁卑の碑					16
榊原文文	北海道のつり	36	11	432 水交社	B5変型	146
	「はいど」溪師のアイヌ語紀行 Vol. 39 誰もがみいへん知っている「おしゃまんべ」					103～105
菊池勇夫	歴史地理教育		706	歴史教育者協議会	A5	102
	【歴史研究最前線】近世のアイヌ蜂起(戦い)をめぐる					70～75
菊池勇夫、真栄平房昭	近世地域史フォーラム1 列島史の南と北			吉川弘文館	B6	264
	18～19世紀の北太平洋世界における樺太先住民交易とアイヌ アイヌの霊送り儀礼と場所請負制 海峡を越える地域間交流 海峽を越える地域間交流 「蝦夷征伐」と地域史認識 : 津軽地方の田村麻呂伝説を中心に					164～189 190～215 216～240 241～264
新川寛[にいかわ ゆたか]	梨の花Ⅲ 評論と随筆			新川寛「札幌市」	A5	256
	知里幸恵編著『アイヌ神謡集』の世界について					7～25
ひろたまさき	部落解放		573	解放出版社	A5	118
	差別の歴史を考える28 アイヌと沖縄人					108～117
田所顕平	歴史地理教育		707	歴史教育者協議会	A5	136
	第8分科会 人権と国際連帯 特集：歴教協第58回埼玉大会報告集。第8分科会報告ページ中に「先住少数民族アイヌをめぐる提起」あり。					49～50
松本克己	世界言語への視座 : 歴史言語学と言語類型論			三省堂	A5	478
八幡和郎	特に章節や項目はないが、言語名索引によれば「アイヌ語」約30ヶ所あり。					
	47都道府県地名うんちく大全			平凡社	新書	358
上村英明	北海道					23～24
	先住民族の10年 News		129	先住民族の10年市民連絡会	B5	20
石見博昭 成田英敏 貝澤耕一	国連改革と先住民族の権利 : 改革は意味あるものだが、予断を許さない					2～4
	「北海道近代における朝鮮人の定住化とアイヌ民族」講演より 漫画エッセー9 星を眺めて セミナー報告 ダム建設予定地の環境影響調査を終えて ダム開発とアイヌ民族					5～7 12 14～16
亀井孝、大藤時彦、山田俊雄(編集委員)	日本語の歴史1 民族のことばの誕生			平凡社		485
	平凡社ライブラリー595。底本は『日本語の歴史』第1巻(1976年5月)					
稲留正英、佐藤正生、濱村真哉、柳沼倫彦	形質と文化の複合性 日本語系統論はどう展開したか					127～159 162～187
	週刊エコノミスト	84	60	毎日新聞社	A4	102
知里幸恵文学資料室(編)	地域再生の仕掛け人 観光カリスマ100人/現地ルポ 各地で輝く観光振興の「達人」たち 1/北海道・阿寒湖温泉/アイヌ文化で「再生請負人」					18～19
	部落解放・人権図書目録2007年版 アイヌ問題			部落解放・人権図書目録刊行会	A5	125 85～87
井上勝生	知里森舎通信		19	知里森舎	B5	9
	『知里森舎 秋の便り』(2006年11月付、4ページ、編集・写真：横山孝雄)及び知里幸恵ノートの図版2ページを添付					
アイヌ民族と北海道	シリーズ日本近現代史1 幕末・維新			岩波書店	新書	258
	岩波新書赤版1042					
アイヌ民族と北海道	他のページにも関係記述・図版若干あり					232～234

2006年11月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
梶光一、宮木雅美、宇野裕之(編)	エゾシカの保全と管理				北海道大学出版会	B5	252
梶光一	北海道の自然環境とエゾシカの歴史						3～9
アイヌ語地名研究会(編)	アイヌ語地名研究会会報			28	アイヌ語地名研究会	B5	8
伊藤せいち	地名アイヌ語辞典 勉強会報告						1
井口利夫	今井八九郎の縮尺について : 補遺						2～3
地蔵慶護	えにわ地名小史(2)						3～4
平隆一	高木崇世芝会員の講演「蝦夷地を表す古地図」を拝聴して 図書・会誌・会報・論文などの紹介						5 6～8
伊達市噴火湾文化研究所(編)	Newsletter 噴火湾文化			2	伊達市噴火湾文化研究所	A4	16
	表紙写真「カムイノミ」。						
百々幸雄、片山一道 黒田格男	【インタビュー】日本の人類学研究と噴火湾 【資料紹介】伊達の画家・小野譚の『アイヌ絵』について						10～16
秋葉實(編)	松浦武二郎 知床紀行				北海道出版企画センター	B6	196
	松浦武二郎の知床半島への3回調査紀行を現代文にし、図・絵を収録し、地図・写真などを加える。						
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 3				帯広市教育委員会	B5	286
	文書綴1-5 虻田第二尋常小学校同窓会/出現語彙一覧/原資料 平成18年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成事業成果品。						
苫小牧駒澤大学(編)	苫小牧駒澤大学紀要			16	苫小牧駒澤大学	A5	168
植木哲也	児玉作左衛門のアイヌ頭骨発掘(3) : 大後頭孔の「人為的」損傷						1～36
	赤れんが			42	北海道立文書館	A4	8
伊藤聡	【古文書あれこれ】善兵衛・不屈者につき手討に致し候 : アイヌをめぐる番人と役人の綱引き						4～5
	第19回 アイヌ民族文化祭				北海道ウタリ協会	A4	21
解放教育研究所(編)	解放教育	36	11	468	明治図書出版	A5	
	【座談会】アイヌアートプロジェクトのいま 人権教材にみるアイヌ かみさまの くつ(あいかわきみつぐ)/きつねのチャランケ/アイヌの人々の暮らしに学ぶ/自由の大地、アイヌ モシリに生きてきた人々(竹内渉)						7～43 44～62
	資料と解説 「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」ほか						63～75
千葉歴史学会(編)	千葉史学			49	千葉歴史学会		
荻原眞子	【巻頭随想】アイヌの盛装と太刀						1～4
	文献探索 2006 特集: 書誌新人集				文献探索研究会		
宮本沙織	アイヌ民族の民話・伝説に関する書誌						462～484

2006年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2006年12月】						
岡雅彦	グラフ旭川 アイヌの文化36 アイヌ民族(1)		336	グラフ旭川	B4	66 55
内田祐一 (写真、文)	広報おびひろ 【ふるさと見聞録】アイヌの人々の生活		991	帯広市企画部広報課	A4	20 20
相沢京子	白老ベン 休養林の窓から 「アイヌ語との出会い」18～19ページにあり。		26	白老ベンクラブ	A4	97 16～19
榊原文文	北海道のつり 「ほいど」漢師のアイヌ語紀行 Vol. 40 「祝津」と書いて「しゅくずし」 …小樽と室蘭両方に	36 12	433	水交社	B5変型	146 103～105
『itahchara』同人 (編) 丹菊逸治 高橋靖以 田村雅史 篠原智花 楠本克子 北原次郎太 奥田統己	itahcara (イタハチャラ) バチェラー八重子の『アイヌ語短歌』 アイヌ語十勝方言民俗語彙の検討 (哺乳類) 連動詞につく派生接辞とその派生 rekuhara の伝承についての考察 トンコリを縦譜で 樺太アイヌの木製品における刻印・人面の信仰的意義 : 事例と考察 田口正夫「戦前におけるアイヌと観光についての史的考察」へのコメント		5	『itahchara』同人	A4	59 1～21 22～23 24～30 31～35 36～38 39～54 55～59
北海道埋蔵文化財センター (編)	江別市対雁2遺跡(8) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第231集			北海道埋蔵文化財センター	A4	3分冊
酒井美直 長岡伸一 小林純子	先住民族の10年 News 「AINU REBELS」: 楽しくかつよくアイヌとして生きたい 巷のアイヌ語 第8回 「ハスカップ」 差別図書をめぐる「アイヌ人格権裁判」最高裁・東京行動		130	先住民族の10年市民連絡会	B5	20 2～3 8 14
佐藤梅子、坂井悦子 (編) 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕	小笠原克・北方文芸編集長の仕事 編集後記〔1970年10月号〕 同号はアイヌ問題特集号 編集後記〔1972年2月号〕 同号はアイヌ問題特集号 編集後記〔1972年11月号〕 編集後記〔1974年3月号〕			坂井悦子	A5	249 43 59 68 84
北海道高等学校日本史教育研究会 (編)	歴史散歩1 北海道の歴史散歩 道内各地の歴史や史跡、文化財などを紹介。「上ノ国勝山館跡」「樺太アイヌ慰霊碑」「川村カチト記念館」「知里幸恵文学碑」「バチェラー夫妻記念堂」「二風谷アイヌ文化博物館」「新ひだか町アイヌ民俗博物館」などの項目あり。			山川出版社	新書	342
アトイ (語り)	北海道いい旅研究室 カムイイビリマ : 神々の耳うち		9	海豹社	A5変型	114～117
河井大輔	faura (ファウラ) アイヌ民族は驚をどう見ていたか		14	北国からの贈り物(発行)、 ナチュラリー (発売)	A4	80 31
松木新	よだん アイヌを描いた文学 『厚田日記』	12月号		文友社出版	B5	36 15
アイヌ語地名研究会 (編) 平隆一 榊原文文 戸部千春 池田実 清水清次郎 地蔵慶護 宮崎耕太 三好勲 井口利夫	アイヌ語地名研究 松浦武四郎文献における空知の「アイヌ古道」 : 第1報 石狩川右岸 前編 胆振管内海岸域のアイヌ語地名について 松浦武四郎弘化二年初航の十勝海岸を歩む 胆振の旧道を訪ねる 2 本州のアイヌ語 (起源の) 地名研究 : コツ・オウコツ・オコッペ・地名 本州のアイヌ語地名 樺太・能登呂村のアイヌ語地名 アイヌ語地名の魅力・その分類 (その1) : 海岸・山・川・湿地のアイヌ語地名 19世紀の室蘭図に見るアイヌ語地名		9	アイヌ語地名研究会	B5	198 1～20 21～44 45～58 59～80 81～100 101～111 113～125 127～152 153～174

2006年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
村崎恭子	日本の中のアイヌ語地名 : 北海道をモデルに本州以西を探索 2006年6月11日旭川での地名研究大会における講演記録。					175～193
鳴海日出志	【談話室】言語漫談 : 「父」の比較言語					195～196
武井時紀	北海道のなかの山梨 : 移住二世が語る山梨県団体移住史 下記以外にも関係記述あり (143ページに吉田巖関係記述)			武井時紀〔私家版〕	B6	248
	札幌神社宮司でアイヌ文化研究者 白野夏雲関係記述。					167～169
	入植許可までなんと一年四ヶ月 鷹栖町入植関係記述。アイヌ居留嘆願運動に言及。					97～100
竹内渉	けーし風 【北の風・南の風】アイヌ文化交流 愛楽園		53	新沖縄フォーラム刊行会議	A5	98 70～71
吉田邦彦	多文化時代と所有・居住福祉・補償問題 先住民族(アイヌ民族)問題と所有権・知的所有権 初出は『ジュリスト』1163、1165、1302、1303号(1999年、2005年)			有斐閣	A5	675 304～394
大野晋、金関恕	日本語はどこか来たか : 考古学・人類学・言語学との対話			岩波書店	B6	248
馬場悠男(大野晋、金関恕との座談)	形質人類学との対話 : 馬場悠男先生をお迎えして 65～69「アイヌと縄文人」あり。					47～106
中川裕(大野晋、金関恕との座談)	アイヌ語学との対話 : 中川裕先生をお迎えして					151～206
北海道立北方民族博物館	北方民族博物館だより 第21回北方民族文化シンポジウム シンポジウム報告記事。全体テーマ「北太平洋の文化 : 北方地域の博物館と民族文化」、第1部「日本における異文化展示」、第2部「博物館の基盤 資料収集」、第3部「博物館活動と地域文化」、第4部「博物館の交流と展示」。第3部に「地域住民との掛け橋としての博物館の役割 : 帯広百年記念館アイヌ文化情報センター「リウカ」の活動について」(内田祐一)、第4部に「海外におけるアイヌ文化の展示と交流」(野本正博)あり。		63	北海道立北方民族博物館	A4	8
高城高〔こうじょう こう〕	X 橋付近 高橋高ハードボイルド傑作選			荒蝦夷〔仙台市〕	A5	372
高城高	【創作】雪原を突っ走れ 初出は『面白倶楽部』1959年4月号					219～238
大塚拓	ムゼイオン アイヌ文化を表象する2つの地域博物館の役割 : 北海道平取町二風谷を例に		52	立教大学学校・社会教育講座	B5	104 7～22
森越智子	いつかカッコウのように 【創作】いつかカッコウのように			新風舎	B6	125 7～83
平村谷一 萱野れい子	二風谷アイヌ語教室 広報紙 木彫り職人として ベレー帽にわらじ履き(2) 『北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成12年)』(2001年3月、北海道発行)からの転載。		84	平取町二風谷アイヌ語教室	B5	10 1～2 3
川上将史(談)	訪問インタビュー 第82回					4～6
岩崎グッドマンまさみ、貝澤太一、石井智美、貝澤美和子	年報 新人文学 沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究 下		3	北海学園大学大学院文学研究科	A5	234 112～161
魚井一由、廣田徹	専修大学北海道短期大学紀要 『M. M. ドブラトヴォールスキー著アイヌ語・ロシア語辞典』に関する一私考(6) : その語彙・例文と石狩川流域を中心としたアイヌ語との比較		39	専修大学北海道短期大学		61～95
	げんき 発行年月日記載なし。発行月は本号が12月号であることによる。		556	白老町経営企画課統計グループ	A4	20
	イオル再生へ 植栽など着々/アイヌ伝統文化伝承へ18年度は約5千万円					1
宇井眞紀子(写真、文)、アシリレラ(言葉)	母の友 カムイ(神)の民に祈りましょう : あるアイヌ女性の言葉		643	福音館書店	A5変型	56 56～61

2006年12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
市毛幹幸 山崎幸治	北海道・東北史研究			3	北海道・東北史研究会(発売: サッポロ堂書店)	B5	
	18世紀末における近世国家とアイヌ社会の関係秩序 : クナシリ・メナシの戦いのアイヌ仕置を手掛りとして						18~34
	アイヌ研究におけるモノと文献 : シーボルトの「蝦夷細工」を中心に						65~79
サッポロ堂書店(編)	北海道文献目録2006〔北海道・シベリア文献目録2006〕				サッポロ道書店	B5	229
弘南堂書店(編)	北方関係を主にした 弘南堂古書目第47号				弘南堂書店	A4	270

2006年 発行月記載なし

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻	号	通巻	発行者	判型	ページ
【発行月記載なし】							
	サッポロビリカコタンに行こう!! 小学生向け学習ノート				サッポロビリカコタン	A5	
	平成17年度 財団の活動 財団設立の経緯/財団の目的・組織等/1年間の歩み/理事会・評議会及び各委員会の開催状況/事業実施体系/平成17年度財団事業の実施状況				アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	71
安田雄児	謎の手宮古代文字について 西田教授とアイヌ青年遠星との大論争 他にも「古代文字論争」などの関係項目あり。				〔私家版〕	B5	93 50～53
萱野茂、石垣繁ほか	ライフサイエンス 21世紀に生きる心の原点 : 対談・アイヌ民族とウチナンチュウの教え	32	2		生命科学振興会		39～57
松名隆、塩谷亨	室蘭認知科学研究 アイヌ語とハワイ語の気象語彙に関する対象研究について			4	室蘭認知科学研究会	B5	13～18
環境社会学会編集委員会 (編)	環境社会学研究			12	環境社会学会		
小野有五	シレットコ世界自然遺産へのアイヌ民族の参画と研究者の役割 : 先住民 族ガヴァナンスからみた世界遺産						41～56

2005 補遺 1月～3月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
【2005 補遺】						
【1月】						
中橋孝博	日本人の起源 : 古人骨からルーツを 探る 講談社選書メチエ318			講談社	B6	268
	アイヌと琉球人					252～254
池澤夏樹	世界文学を読みほどく : スタンダ ールからピンチョンまで 池澤夏樹『静かな大地』 新潮選書。2003年9月に京都大学文学部にて行われた夏期特殊講義の講義録をもとにしたもの。			新潮社	B6	445 336～358
坂西友秀	近代日本における人種・民族 : ス テレオタイプと偏見の形成過程			多賀出版	A5	360
飯島浩 (構成)	週刊朝日	110	2	4666 朝日新聞社	B5	158
萱野茂	【夫婦の情景】249 萱野茂 萱野れい子 アイヌの里 二風谷に生きて 『人間の記録』シリーズ第165巻。単行本初版は北海道新聞社、1987年			日本図書センター	B6	56～58 235
	解放新聞広島県版			1752 解放新聞社広島支局	A3	4
	差別撤廃の闘いを共有 : 打本顕真さん ヤウユーカラの森と交流					1
【2月】						
三省堂百科事典編集部 (編)	婦人家庭百科辞典 上 あーし ちくま学芸文庫。初版は『婦人家庭百科事典』(三省堂、1937年)			筑摩書房	A6	976
赤堀又次郎	アイヌ					29
海交史研究会考古学論集刊 行会(編)	海と考古学			六一書房	B5	423
松本建速	蝦夷と昆布					167～178
横山英介	焼畑の考古学 : 北海道における焼畑跡の考古学的分析					179～206
瀬川拓郎	同化・変容・残存 : 住居にみるアイヌ文化の成立過程					207～219
石田肇	古人骨からみた北海道の人々とその位置					221～232
近藤修	頭蓋携帯からみた北海道アイヌの地域性とオホーツク文化人の影響					233～242
北海道企画振興部計画室 (編)	第3次北海道長期総合計画 第3回推進 状況報告書 アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会 の実現			北海道	A4	319 47～48
菊田征洋	解放新聞広島県版 第32回アイヌ交流団に参加して			1753 解放新聞社広島支局	A3	4 2
【3月】						
NHK放送文化研究所(編)	NHK21世紀に残したいふるさと日本の ことば 1 北海道・東北地方 アイヌ語からとりいれられたことば			学習研究社	B4変型	79 11
吉田巖	北海道あいぬ方言語彙集成 復刻版 単行本初版は小学館、1989年発行。初版のB6版を拡大した復刻版。			帯広叢書編集委員会	B5	278
佐藤隆則 (編集人)	ふるさと十勝 十勝の宗教2 アイヌ民族の信仰 【詩】土の詩2 子守歌【ルビ:イフンケ】			168 ふるさと十勝	B5	78 70～73 77
長谷川修	TOKYO 人権 先住民族、アイヌとして生きる【インタビュー】			5 東京都人権啓発センター	A4	8 2～4
	人権新聞 アイヌ人権訴訟 支援事件報告			353 自由人権協会		4 1
前田雅之	文学 「鬼神」と「心正直」 : 中世太子伝の蝦夷形象をめぐる	62	2	岩波書店	A5	217 157～173
柳田国男	柳田国男全集 第33巻 明治三十九年樺太紀行 初出は『心』第11巻第7号、1958年7月。解題中にも言及箇所あり(653～654ページ)。			筑摩書房	A5	679 256～268

2005 補遺 3月～5月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
黒須亜希子	大阪府立近つ飛鳥博物館報 アイヌの木製容器について : 清野謙次コレクションより		9	大阪府立近つ飛鳥博物館	A4	90 11～24
モリヴァ・グリナラ、 竹内亮介 小野哲也	北海道考古学 続縄文からアイヌ文化期における骨格製銚頭の様相 : 小幌洞窟・増市遺跡出土銚頭の再検討 北海道域を取り巻く製品流通状況について : 鉄鍋の検討による		41	北海道考古学会	B5	55～76 77～89
岡内三眞、菊池徹夫(編) 佐藤宏之	社会考古学の試み クマ送り儀礼に見る社会的威信と階層化社会 : 北太平洋北岸狩猟採集社会の比較民族考古学			同成社	B5	255 193～204
福本東希子 菱川善夫	歌集 鳥より碧き 解説			砂子屋書房	B6	165 151～161
法政大学国際日本学研究所 センター(編)	アイヌの歴史 : 周辺との交易・交流 文部科学省21世紀 COE プログラム「日本発信の国際日本学の構築」国際シンポジウム報告書。2004年9月12日に開催されたシンポジウムの記録。			法政大学国際日本学研究所	A4	178
法政大学国際日本学研究所 センター(編)	現代のアイヌを考える : 新しい認識の地平をめざして 文部科学省21世紀 COE プログラム「日本発信の国際日本学の構築」におけるシンポジウム報告書。在日本若手外国人アイヌ研究者によるシンポジウム。2004年5月30日開催。			法政大学国際日本学研究所	A4	83
アンエリス・ルアレントム・ボグダノヴィッチ(通訳:寺池五一) マーク・ウィンチェスター ジョージナ・スティープンス マーク・ワトソン	アイヌ民族の蘇生運動における「女性文化」 「ビデオ日記」によるアイヌ現代生活研究 「研究者」の位置・「研究者」という位置 : アイヌ研究の再考を求めて アイヌ民族と法律 : 権利実現の可能性 都市に暮らす先住民の比較 : 関東圏アイヌの場合 ディスカッション 配付資料集					12～20 20～25 25～34 35～45 45～52 53～58 59～83
	博士学位論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨 長澤政之「近世蝦夷地・場所請負制下のアイヌ社会 東蝦夷地・子モロ場所の事例を通じて」			東北学院大学	A4	35 8～20
山口誠治	解放新聞広島県版 解放の道のりを学ぶ : 第32回アイヌ交流団に参加して		1757	解放新聞社広島支局	A3	4 4
【4月】						
山口昌男	「挫折」の昭和史(下) モダニズムと地方都市 : 北海道と金沢 岩波現代文庫 G141。単行本初版は1995年岩波書店刊。初出は『へるめす』第32号(1991年7月)。			岩波書店	A6	441 333～375
	3モア通信		2	音威子府村総務課地域振興室エコミュージアムおさしまセンター「BIKKYアトリエ3モア」	B4	2
五色町ふるさと振興公社(編)	高田屋嘉兵衛翁伝 アイヌモシリ			五色町ふるさと振興公社(兵庫県)	A4	103 30～33
伊藤孝博	義経北行伝説の旅 渡海者たちの光と影 : 蝦夷地での義経伝説(Ⅰ) 蝦夷島版「判官信仰」の“下絵”か : もう一人の判官・小山悪四郎の消息 岩内・日高・道東へ : 蝦夷地での義経伝説(Ⅱ) 積丹から宗谷まで : 蝦夷地での義経伝説(Ⅲ)			無明舎出版	A5	143 94～103 104～105 106～121 124～137
【5月】						
大脇徳芳	人権と部落問題 同号所収滝沢正・大脇徳芳「アイヌ民族共有財産裁判」って何だろう」は掲載済み。 地裁・高裁での取り組みと判決の特徴、今後の課題	57	6	731 部落問題研究所	A5	96 12～19

2005 補遺 5月～8月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
滝沢正 小川隆吉 鹿田川見 小笠原信之	北海道知事公告は虚偽である : 共有財産の調査は十分に行われていない 原告団の証言 原告団の証言 資料〔アイヌ民族共有財産裁判関係〕 〔わが作品を語る〕『アイヌ共有財産裁判』					20～27 28～30 30～32 33～39 66～67
日本方言研究会(編)	20世紀方言研究の軌跡 : 文献総目録 北海道 他に青森(548～564ページ)にも関連記事若干あり。			国書刊行会	A5	981 538～547
前田雅之	文学 「鬼神」と「心正直」 : 中世太子伝の蝦夷形象をめぐる(承前)	62	3	岩波書店	A5	179～199
北海道新聞社(編)	北の大地に刻む : 北海道新聞60年史			北海道新聞社	B5変型	495
本間至能富	見出しに苦心したアイヌ新法					453
【6月】						
野元弘幸	月刊社会教育 特集:「多文化社会を考える。」 同号所収室野志朗「子どもの権利条約とアイヌ民族のアイヌ語学習権」は掲載済み。下記のほか巻末「編集コーナーから」にも関係記述あり。 多文化・多民族共生の原理と教育の提起 : 「多文化共生」を超える視点と原理を求めて	49	6	596 国土社	A5	88 5～14
文化庁文化財部(編) 文化庁文化財部 文化庁文化財部	月刊文化財 蝦夷三官寺善光寺関係資料 蝦夷三官寺国泰寺関係資料		501	第一法規	B5	62 50～51 52～53
フッチコラチの会(編)、 岡田路明(監修)	フッチコラチ アイヌ文様イラスト集			小松博子(発行責任者)	A4	38
【7月】						
堀込真理	月刊社会教育 アイヌ文化の風止まず	49	7	597 国土社	A5	88 58～59
高坂京子(再話、企画、編集)、 本田広明(絵)	アイヌのイオンノッカ〔絵本〕			高坂京子(千歳市)	A5変型	18
鹿田川見 鹿田川見 青柳信克	みゅじあむ 博物館講座『アイヌ文化』 所蔵品目録から 企画展「アイヌ語地名を歩く ―山田秀三の地名研究から― 2005・旭川」	22	86	旭川市博物館	A4	16 4 6 7
北海道立北方民族博物館(編)	アイヌと北の植物民族学 : たべる・のむ・うむ 北海道立北方民族博物館第20回特別展図録			北海道立北方民族博物館	A4	59
齋藤玲子 村木美幸	北の植物民族学 アイヌの植物利用					5～9 25～29
梅原猛(談)	縄文ジャーナル 〔巻頭インタビュー〕梅原猛 縄文文化・縄文の心を語る アイヌ人の世界観/浦川タレさんの話/アイヌの世界観は縄文の世界観		2005夏	たちばな出版	B5	68 1～7
佐古浩敏、谷口哲雄、山中 正実、岡田秀明(編著)	世界遺産 知床の素顔 : 厳冬期の 野生動物王国をいく			朝日新聞社	B6	212
大脇真矢	世界自然遺産への道 朝日選書779。「アイヌ民族の視点」162～164ページ。					153～165
【8月】						
中館寛隆	春秋ほっかいどう 〔道内出版〕佐々木利和・古原敏弘・児島恭子編『アイヌの道』		2006夏夏号	中央公益札幌	B5	66 55
ひろたまさき	部落解放 差別の歴史を考える 11 日本型華夷意識の形成		553	解放出版社	A5	128 102～110
	月刊ほっかい	35	9		B5	

2005 補遺 8月～12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
	白老町の「中核イオル」が10年目で愁眉を開く/来年度予算で拠点施設の設計費を概算要求					24～25
福岡イト子(文)、海藤久仁子(絵)、小樽教育地図研究会(編)	アイヌの口承文芸				A4	48
	初出は『しらかび』(市立小樽図書館) No. 201～212 (2004年4月～2005年3月)					
【9月】						
	西條史談		65	西條史談会(愛媛県西条市)	A5	72
尾崎繁美	アイヌ語地名研究の先覚者 西條藩士永田方正					13～21
【10月】						
江川善則	日本砂浜紀行3 伝説と風景 ピリカメノコ伝説〔北海道えりも町百人浜〕			江川善則	B5	105 7～10
	部落解放 差別の歴史を考える⑨ 蝦夷と琉球		550	解放出版社	A5	116 108～115
ひろたまさき	飛ぶ教室 特集：神沢利子の世界		3	光村図書出版	B5変型	207
神沢利子	〔創作〕ワカルバ物語 1941年作。未発表。					116～131
【11月】						
	チ・ラム・サイ・エ(我ら・心・輪にする)			アイヌ民族に連帯し、扶桑社教科書を批判する会	B5	47
	釧路市立博物館報 釧路川水系の遺跡16：中流域の送り場(標茶町)その2		391	釧路市立博物館	B5	12 3～7
豊原照司	真澄学		2	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A5	346
井筒桃子 菊池勇夫	菅江真澄 日記の中の災害史：東北・北海道編 菅江真澄から近世史をさぐる② 昆布刈りのわざ：渡島半島東海岸の旅					248～295 321～345
	みやび通信 現代っ子に読ませたい日本昔話六(北海道)		6	みやび出版 ききんをすくった女神	B6変型	48 38～39
稲田和子(文)、宮田菜穂(絵)						
大塚和義	兼葭堂だより 木村兼葭堂と蝦夷地の情報ネットワーク		5	木村兼葭堂顕彰会	B5	8 1～2
北海道開発局広報室(編) 岩井國臣、加藤忠、飴屋長蔵、野本勝信、村木美幸、本多満	北海道開発グラフ アイヌ文化に関する座談会 「岩井国土交通副大臣が来道、白老町と栗山町で座談会を行いました」(14～17頁)の一部		43	北海道開発協会		14～15
【12月】						
城正明	イッショ・モシリ：豊かなる大地 イチャルバ：アイヌの儀式			海悠出版(発行)、主婦と生活社(発売)	A5	189 164～167
中野栄夫	日本の中の異文化 1 「日本の中の異文化」研究への道：『日本の中の異文化』刊行の辞に代えて			日本異文化研究会	A5	94 1～4(横組ページ)
宇梶良子(編)、中野栄夫(補訂)	伊賀トシの「私なるアイヌ」 語り：伊賀トシ、聞き手：宇梶良子、協力：宇梶静江。1999年3月発行『あるアイヌの女性史』の一部を補訂し再掲したもの。					21～32(横組ページ)
弟子シギ子	先祖 祖父母に感謝 関東ウタリ会創立25周年記念講演会(2004年12月12日)での講演資料を再掲。					33～38(横組ページ)
中野栄夫	『昔話研究』第2巻第1号に高橋盛孝「ギリヤクの民譚」としてつぎのような話が載っていましたのでご紹介しておきます」					43(縦組ページ)
川元祥一	和入文化論 その基軸の発見 アイヌ・沖縄・和入の世界：列島文化			御茶の水書房	B6	316 292～305
	初出は「農山・漁村ルネッサンス：視点を変えたら面白いぞ日本!」『ゆいまーる』(コミュニティネットワーク協会) Vol. 12～16 (2002～2003)。本書収録にあたり加筆修正を行う。					

2005 補遺 12月

編著者(単行本・雑誌・所収書)	表題(単行本・雑誌・所収書)	巻 号	通巻	発行者	判型	ページ
	年報 新入文学		2	北海学園大学大学院文学研究科	A5	278
岩崎グッドマンまさみ、石井智美、岩野英知、貝澤美和子、井上博紀	沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究 (上)					118~179
菫沢光治	アイヌモシリを巡る鳥見旅			ブイツーソリューション (発行)、星雲社 (発売)	A6	213
	シマチドリとの出会い					181~210
清水町史編さん委員会 (編)	清水町百年史			清水町	A4	1341
相神達夫 相神達夫	「トカチ」の登場と先人たち 拓殖への息吹きとアイヌ民族					81~98 99~118
	中名寄百年郷土誌			中名寄開拓百年記念事業実行委員会	A4	206
	先住民族を供養 アイヌ民族一同の碑					91